

令和元年度

## 第2回旭区民アンケート報告書

「旭区将来ビジョン 2022

～安心して住み続けられるあたたかいまち 旭区～」



旭区マスコットキャラクター

「しょうぶちゃん」

大阪市旭区役所

## も く じ

### 【Ⅰ】 調査の概要 . . . . . 6

### 【Ⅱ】 調査結果

#### 【1】 子育て・教育環境の充実に向けた取組について

問1 大阪市では、妊娠中から子育て期までの切れ目のない支援体制として「大阪市版ネウボラ」の取組を進めています。また、旭区独自の取組として「あさひプレママサロン」（妊婦を対象としたサロン形式の教室）や「おかあさんのほっと！タイム」（子育て中のお母さんを対象とした講座の一つ）などのイベントに加え、気軽にいつでも相談してもらえるよう「あさひ子育て相談メール」を実施しています。子育て中の家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられるようになっていると思いますか。 . . . . . 7

問2 旭区役所では、区内の各小学校・中学校において、放課後の時間帯などを利用し、学力向上を目的とした「学力アップアシスト事業」、「旭ベーシックサポート事業」、「旭塾」をそれぞれ開催しています。学校教育やこれら区の取組を通じて、小学生・中学生の学習習慣が確立されていると思いますか。 . . . . . 8

#### 【2】 暮らしを守る福祉などの向上に向けた取組について

問3 旭区役所では、本年2月22日に開催する「あさひ健康フェスタ&食育フェスタ（健康に関する催し）」や「いきいき百歳体操（おもりを使った簡単な体操）」の普及など、健康意識の高揚に向けたイベントの開催などに取り組んでいます。これらの取組が、区民の健康意識の向上につながると思いますか。 . . . . . 9

問4 区民一人ひとりが健康の重要性を意識し、生活習慣病や認知症の予防及び早期発見・早期治療を実践することが重要です。以前に比べ、あなた自身の健康意識が高まっていると思いますか。 . . . . . 10

問5 旭区では、障がいのある方やその家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられるようになっていると思いますか。 . . . . . 11

問6 障がいのある方やその家族の方の相談に応じて、福祉サービスの利用援助など地域における生活を支援する機関「旭区障がい者基幹相談支援センター」をご存じですか。 . . . . . 12

問7 障がいのある方の、自立と社会参加、相談支援体制の充実、権利擁護などに取り組む「旭区地域自立支援協議会」をご存じですか。 . . . . . 13

- 問 8 障がいのある方を対象としたサービス・事業に関する情報はどのように入手されていますか。あてはまるものをすべて選んでください。 . . . . . 14
- 問 9 障がい者施策に関して、今後充実すべきと思うことは何ですか？ 3つまで選んでください。 . . . . . 15
- 問 10 旭区では、高齢の方やその家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられるようになっていると思いますか。 . . . . . 16
- 問 11 旭区内にある高齢者の方の支援機関「地域包括支援センター」をご存じですか。 . . . . . 17
- 問 12 地域包括支援センターの役割の一部を担う出張所の総合相談窓口（ブランチ）をご存じですか。 . . . . . 18
- 問 13 認知症の方やそのご家族を支援するための、医師・医療職・福祉の専門員で構成する「認知症初期集中支援チーム（あさひさんさんオレンジチーム）」をご存じですか。 . . . . . 19
- 問 14 旭区広報紙「広報あさひ」9月号に地域包括支援センターの紹介など、高齢者に関する特集を掲載しましたが、ご覧になられましたか。 . . . . . 20
- 問 15 高齢者施策に関して、今後充実すべきと思うことは何ですか。 3つまで選んでください。 . . . . . 21
- 問 16 高齢者の方を対象としたサービス・事業に関する情報はどのように入手されていますか。あてはまるものをすべて選んでください。 . . . . . 22
- 【3】 コミュニティの活性化とまちの魅力の創出に向けた取組について**
- 問 17 旭区内には各小学校区を単位として、10の「地域活動協議会」が設立されています。各地域活動協議会は、構成団体である様々な地域団体等の協働により、地域課題の解決やコミュニティの活性化に取り組んでいます。地域活動協議会により地域が自律的に運営されていると感じますか。 . . . . . 23
- 問 18 旭区役所では、地域の各種団体と協働で、コミュニティ活性化のための催しを開催しています。次の催しで知っているものをすべて選んでください。 . . . 24
- 問 19 旭区役所では、「城北公園フェア（6月）」、「区民まつり（8月）」、「スポーツフェスティバル（11月）」、「総合文化祭（2月開催予定）」を開催するなど、地域の活性化に取り組んでいます。旭区において、地域のにぎわいや活性化が進んでいると思いますか。 . . . . . 25

- 問 20 旭区役所では、区を誇りに思い、郷土愛や愛着を深めてもらうとともに、多くの人々が訪れる活気あるまちの実現に向けて各種イベントの開催などに取り組んでいます。あなたは、旭区に愛着を感じますか。 . . . . . 26
- 問 21 若い世代の方々に、旭区に回帰・定住してもらうためには、どのような取組が効果的だと思いますか。ご意見などがありましたら、記入してください。 . . . . . 27
- 問 22 旭区内には、千林商店街や今市商店街をはじめとした、たくさんの商店街があります。あなたは、区内の商店街を利用したことがありますか。 . . . . . 28
- 問 23 あなたは、旭区内の商店街に魅力を感じますか。 . . . . . 29

**【4】 地域防災力・地域防犯力の強化に向けた取組について**

- 問 24 災害に備えて、避難所や避難経路の確認、物資の備蓄、非常用持ち出し袋、家具の転倒防止策など自助の取組が大切です。あなたの家庭では、何らかの防災対策をとっていますか。 . . . . . 30
- 問 25 旭区役所では、避難所など防災拠点へ災害用トイレ、ガスカセット式発電機、投光器、LEDランタン、間仕切りなどの防災物資を順次配備しています。区役所の防災物資の整備状況にあなたは満足していますか。 . . . . . 31
- 問 26 旭区役所では、平成31年4月に防災力の強化に向けて地域と協働で取り組むため、市民協働課内に防災安全グループを設置し、地域担当制を充実させるなど、区役所の防災体制の強化を図りました。更に、順次、区災害対策本部と避難所の情報伝達手段の再構築（情報機器の配備）や防災備品の充実等を効果的に実施し、いざというときに機能する地域防災拠点の充実強化を図っています。旭区の地域防災体制についてどう思いますか。 . . . . . 32
- 問 27 旭区役所が地域住民や警察署と連携して取り組む地域防犯活動（防犯教室（年間約20回）や街頭啓発（年間約70回）など）は効果があると思いますか。 . . . . . 33
- 問 28 旭区役所が地域住民や警察署と連携して取り組む交通安全運動（春：原則4月6日～4月15日、秋：9月21日～9月30日）及び自転車マナー・放置自転車対策（交通安全教室（年間約20回）・街頭啓発（年間約30回）・取締りなど）は効果があると思いますか。 . . . . . 34

**【5】 あなたご自身についてお聞きします**

- 問 29 あなたの性別をお答えください。 . . . . . 35
- 問 30 あなたの年齢をお答えください。 . . . . . 36

- 問 31 旭区にお住まいになられてどれくらいになりますか。 . . . . . 37
- 問 32 旭区にはいつから住まれていますか。 . . . . . 38
- 問 33 現在お住まいの地域をお答えください。 . . . . . 39
- 問 34 あなたの家族構成をお答えください。 . . . . . 40
- 問 35 現在、高校生以下の子育てをしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。 . . . . . 41

## 【I】 調査の概要

### (1) 調査の目的

本区では、2022 年に向けて、旭区のめざすべき将来の姿を取りまとめた「旭区将来ビジョン 2022～安心して住み続けられるまち 旭区～」を平成 30 年 3 月に策定しました。

同ビジョンでは、優先的に取り組む項目として、「安心して子育てできるまち」、「やさしさあふれるまち」、「活力あるまち」、「安全に暮らせるまち」の 4 つの柱を掲げています。

今回のアンケートでは、今後の取組みの参考とするために、区民のみなさまにお伺いし、区政運営の参考資料を得ることを目的としています。

### (2) 調査の実施状況

- ①調査期間 令和 2 年 1 月 2 9 日（水）～ 2 月 1 9 日（水）
- ②調査方法 調査票の送付による配布と返信封筒による回収
- ③調査対象 住民基本台帳から無作為に抽出した 18 歳以上の旭区民  
(令和元年 11 月末現在) 1, 6 0 0 名

### (3) 調査の回収状況

ア 配布数	1,600 件
イ 未配達分（宛先不明）	25 件
ウ 有効発送数（ア－イ）	1,575 件
エ 郵送回収数	724 件
オ 有効回収数	724 件
カ 有効回収率（オ÷ウ）	46.0%

### (4) 報告書の見方

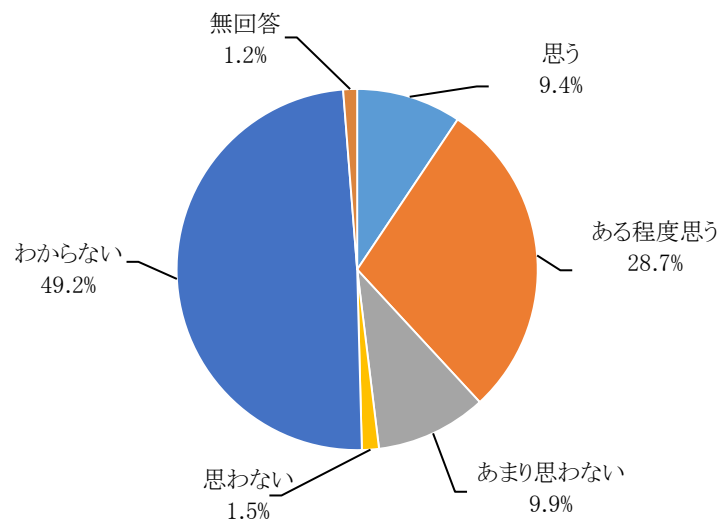
- 特にことわりのない場合は、全て複数の選択肢から 1 つだけを選択して回答する間となっております。
- 結果数値は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100%にならないことがあります。
- 複数回答の場合、回答者数に対する割合を表しているため、構成比の合計が 100%にならないことがあります。
- 性別の「その他」には、回答したくない方を含んでおります。

## 【Ⅱ】 調査結果

### 【1】 子育て・教育環境の充実に向けた取組について

問1 大阪市では、妊娠中から子育て期までの切れ目のない支援体制として「大阪市版ネウボラ」の取組を進めています。また、旭区独自の取組として「あさひプレママサロン」（妊婦を対象としたサロン形式の教室）や「おかあさんのほっと！タイム」（子育て中のお母さんを対象とした講座の一つ）などのイベントに加え、気軽にいつでも相談してもらえるよう「あさひ子育て相談メール」を実施しています。子育て中の家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられるようになってきていると思いますか？ n=724

	項目	全体	割合
1	思う	68	9.4%
2	ある程度思う	208	28.7%
3	あまり思わない	72	9.9%
4	思わない	11	1.5%
5	わからない	356	49.2%
	無回答	9	1.2%
合計		724	100.0%

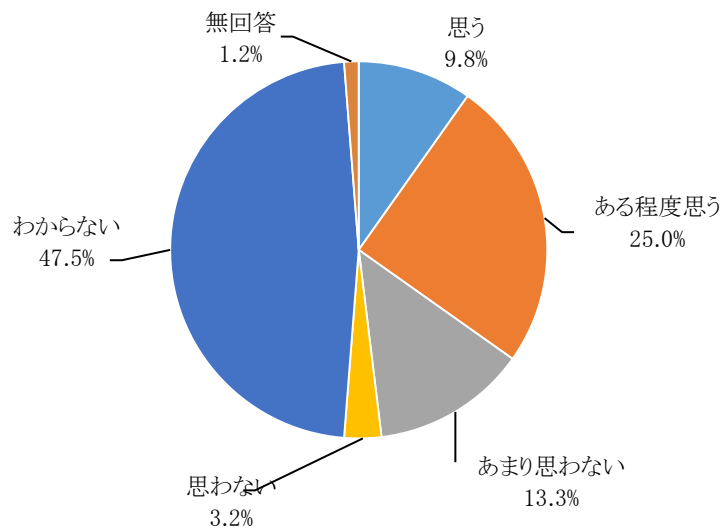


全体的傾向	「わからない」(49.2%)が最も多く、次いで「ある程度思う」(28.7%)、「あまり思わない」(9.9%)となっている。
年齢別傾向	全ての年代で「わからない」が最も多くなっています。次いで「25歳～29歳」および「30歳～39歳」の方は、「ある程度思う」も「わからない」と同じ割合となっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「わからない」が最も多い傾向にありますが、「5年以上10年未満」の方は、「ある程度思う」が最も多くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「わからない」が最も多い傾向にありますが、「自身と親と子ども（三世代世帯）」では、「ある程度思う」が最も多くなっています。

問2 旭区役所では、区内の各小学校・中学校において、放課後の時間帯などを利用し、学力向上を目的とした「学力アップアシスト事業（※1）」、「旭ベーシックサポート事業（※2）」、「旭塾（※3）」をそれぞれ開催しています。学校教育やこれら区の実施を通じた、小学生・中学生の学習習慣が確立されていると思いますか？  
n=724

- ※1 小学生を対象に、学習指導員が補習プリント学習等により、児童の自主学習を支援しています（参加費無料）。
- ※2 中学生を対象に、学習支援員が宿題や復習サポートにより生徒の自主的な学習を支援しています（参加費無料）。
- ※3 中学生を対象に、協定締結事業者が専用の教材などを利用して基礎学習指導を行っています〔参加費要（大阪市塾代助成制度の利用可）〕。

	項目	全体	割合
1	思う	71	9.8%
2	ある程度思う	181	25.0%
3	あまり思わない	96	13.3%
4	思わない	23	3.2%
5	わからない	344	47.5%
	無回答	9	1.2%
	合計	724	100.0%



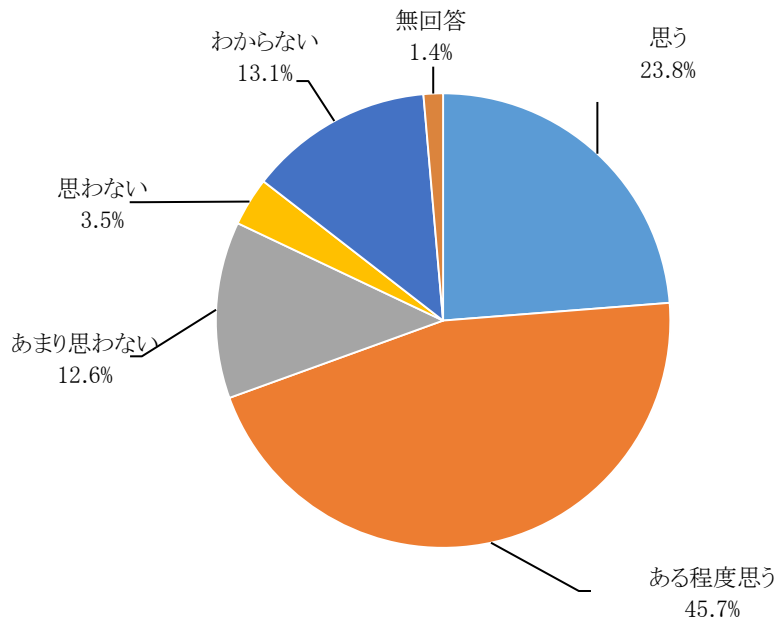
全体的傾向	「わからない」(47.5%)が最も多く、次いで「ある程度思う」(25.0%)、「あまり思わない」(13.3%)となっている。
年齢別傾向	全ての年代で「わからない」が最も多い傾向にありますが、「25歳～29歳」の方は、「ある程度思う」が最も多くなっています。
居住年数別傾向	居住年数別で差異はありませんでした。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「わからない」が最も多い傾向にありますが、「自身と親と子ども（三世代世帯）」では「ある程度思う」が最も多くなっています。



## 【2】暮らしを守る福祉などの向上に向けた取組について

問3 旭区役所では、本年2月22日に開催する「あさひ健康フェスタ&食育フェスタ（健康に関する催し）」や「いきいき百歳体操（おもりを使った簡単な体操）」の普及など、健康意識の高揚に向けたイベントの開催などに取り組んでいます。これらの取組が、区民の健康意識の向上につながると感じますか？ n=724

	項目	全体	割合
1	思う	172	23.8%
2	ある程度思う	331	45.7%
3	あまり思わない	91	12.6%
4	思わない	25	3.5%
5	わからない	95	13.1%
	無回答	10	1.4%
合計		724	100.0%

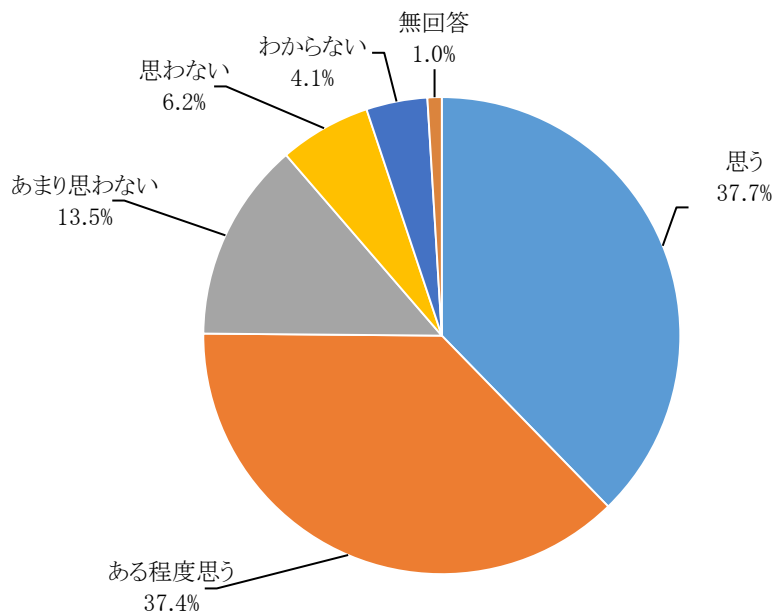


全体的傾向	「ある程度思う」(45.7%)が最も多く、次いで「思う」(23.8%)、「わからない」(13.1%)、「あまり思わない」(12.6%)となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「ある程度思う」が最も多くなっていますが、「18歳～24歳」では「わからない」が次に多くなっています。
居住年数別傾向	居住年数別で差異はありませんでした。
子育て世帯別傾向	全ての世帯で「ある程度思う」が最も多い傾向にありますが、「自身と親と子どもと孫（四世代世帯）」では「思う」が最も多くなっています。

問4 区民一人ひとりが健康の重要性を意識し、生活習慣病や認知症の予防及び早期発見・早期治療を実践することが重要です。以前に比べ、あなた自身の健康意識が高まっていると思いますか？

n=724

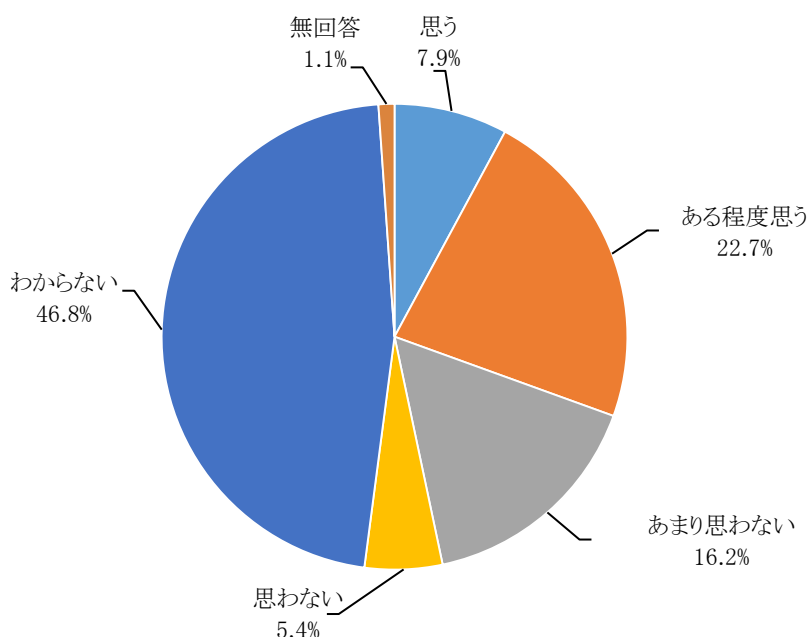
	項目	全体	割合
1	思う	273	37.7%
2	ある程度思う	271	37.4%
3	あまり思わない	98	13.5%
4	思わない	45	6.2%
5	わからない	30	4.1%
	無回答	7	1.0%
合計		724	100.0%



全体的傾向	「思う」(37.7%)が最も多く、次いで「ある程度思う」(37.4%)、「あまり思わない」(13.5%)となっています。
年齢別傾向	「25歳～65歳」の方は、「ある程度思う」が最も多い回答となっています。
居住年数別傾向	「5年以上30年未満」の方は、「ある程度思う」が最も多い回答となっております。
子育て世帯別傾向	「自身と子ども(二世帯世帯)」「自身と親と子ども(三世帯世帯)」の方は、「ある程度思う」が最も多い回答となっております。

問5 旭区では、障がいのある方やその家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられるようになっていると思いますか？ n=724

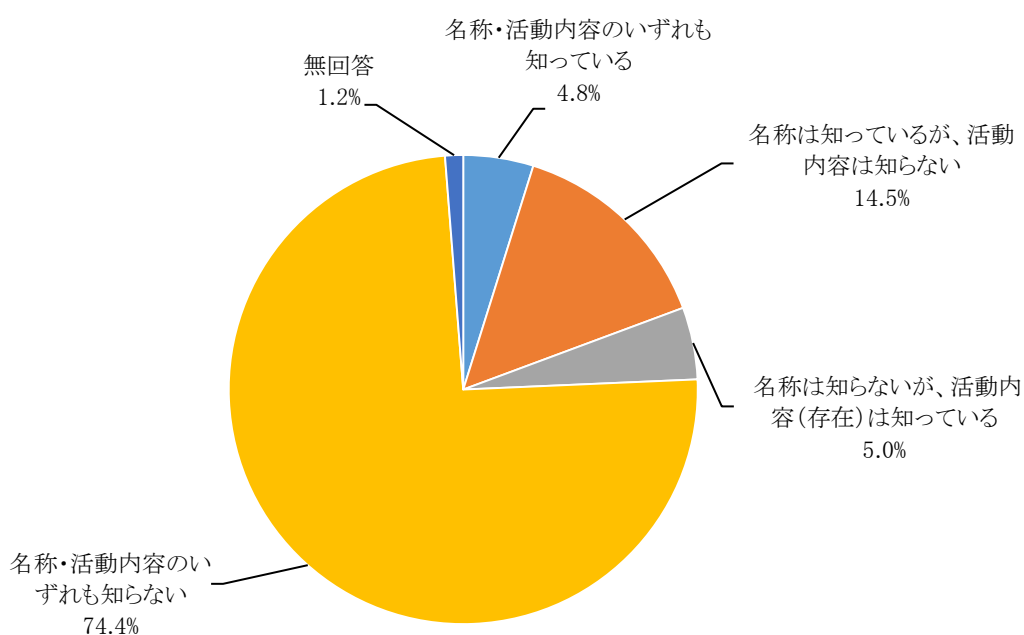
	項目	全体	割合
1	思う	57	7.9%
2	ある程度思う	164	22.7%
3	あまり思わない	117	16.2%
4	思わない	39	5.4%
5	わからない	339	46.8%
	無回答	8	1.1%
合計		724	100.0%



全体的傾向	「わからない」(46.8%)が最も多く、次いで「ある程度思う」(22.7%)、「あまり思わない」(16.2%)となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「わからない」が最も多くなっています。次いで「18歳～24歳」「25歳～29歳」の方は、「あまり思わない」が多くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「わからない」が最も多くなっています。次いで、「5年以上10年未満」の方は、「あまり思わない」が多くなっています。
子育て世帯別傾向	子育て世帯別で差異はありませんでした。

問6 障がいのある方やその家族の方の相談に応じて、福祉サービスの利用援助など地域における生活を支援する機関「旭区障がい者基幹相談支援センター」をご存じですか？（各区に1つ設置されています）。 n=724

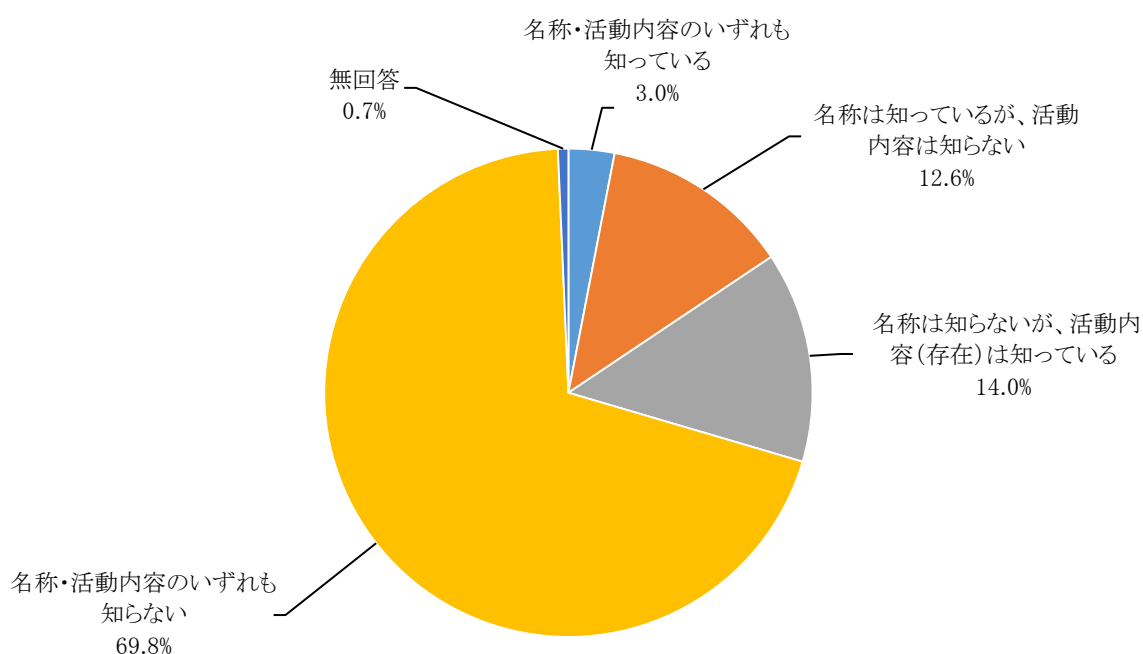
	項目	全体	割合
1	名称・活動内容のいずれも知っている	35	4.8%
2	名称は知っているが、活動内容は知らない	105	14.5%
3	名称は知らないが、活動内容（存在）は知っている	36	5.0%
4	名称・活動内容のいずれも知らない	539	74.4%
	無回答	9	1.2%
	合計	724	100.0%



全体的傾向	「名称・活動内容はいずれも知らない」(74.4%)が最も多く、次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」(14.5%)、「名称は知らないが、活動内容（存在）は知っている」(5.0%)となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「名称・活動内容はいずれも知らない」が最も多くなっています。次いで「30歳～39歳」の方は、「名称・活動内容のいずれも知っている」が多くなっています。
居住年数別傾向	居住年数別で差異はありませんでした。
子育て世帯別傾向	子育て世帯別で差異はありませんでした。

問7 障がいのある方の、自立と社会参加、相談支援体制の充実、権利擁護などに取り組む「旭区地域自立支援協議会」をご存じですか？（相談を受ける事業所のスキルアップのための研修会、相談会や子育て応援セミナー、区役所や千林商店街での授産製品の販売などに取り組んでいます） n=724

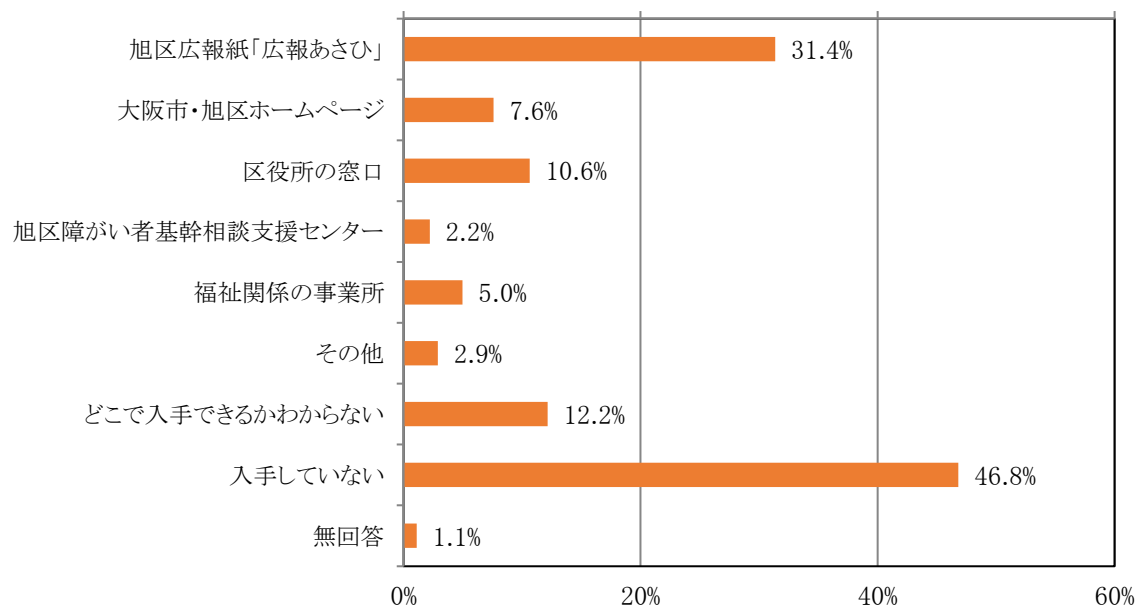
	項目	全体	割合
1	名称・活動内容のいずれも知っている	22	3.0%
2	名称は知っているが、活動内容は知らない	91	12.6%
3	名称は知らないが、活動内容（存在）は知っている	101	14.0%
4	名称・活動内容のいずれも知らない	505	69.8%
	無回答	5	0.7%
合計		724	100.0%



全体的傾向	「名称・活動内容のいずれも知らない」(69.8%)が最も多く、次いで「名称は知らないが、活動内容（存在）は知っている」(14.0%)、「名称は知っているが、活動内容は知らない」(12.6%)となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も多くなっていますが、「18歳～24歳」「25歳～29歳」の方は、「名称は知っているが、活動内容は知らない」が次に多くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「名称・活動内容のいずれも知らない」が最も多くなっていますが、「5年以上10年未満」の方は、「名称は知っているが、活動内容は知らない」が次に多くなっています。
子育て世帯別傾向	「自身と配偶者（またはパートナー）と二人暮らし」の方は、「名称は知っているが、活動内容は知らない」が次に多くなっています。

問8 障がいのある方を対象としたサービス・事業に関する情報はどのように入手されていますか？あてはまるものをすべて選んでください？ n=724

	項目	全体	割合
1	旭区広報紙「広報あさひ」	227	31.4%
2	大阪市・旭区ホームページ	55	7.6%
3	区役所の窓口	77	10.6%
4	旭区障がい者基幹相談支援センター	16	2.2%
5	福祉関係の事業所	36	5.0%
6	その他	21	2.9%
7	どこで入手できるかわからない	88	12.2%
8	入手していない	339	46.8%
	無回答	8	1.1%
合計		867	

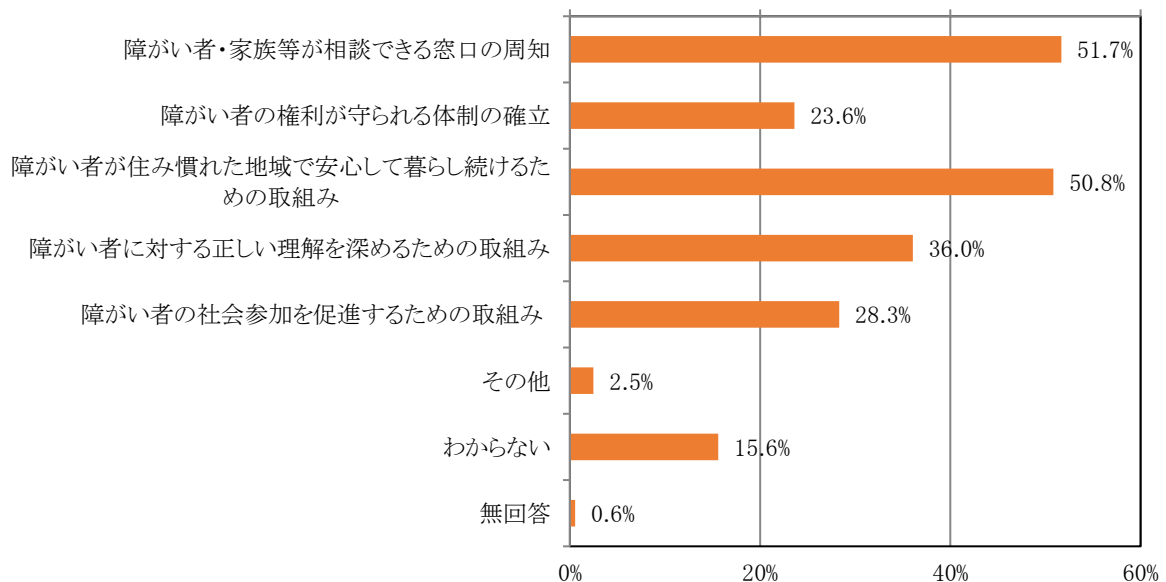


全体的傾向	「入手していない」(46.8%)が最も多く、次いで「旭区広報紙「広報あさひ」」(31.4%)、「どこで入手できるかわからない」(12.2%)となっています。
年齢別傾向	「25歳～29歳」の方は、「大阪市・旭区ホームページ」が次に多くなっています。
居住年数別傾向	居住年数別で差異はありませんでした。
子育て世帯別傾向	子育て世帯別で差異はありませんでした。

問9 障がい者施策に関して、今後充実すべきと思うことは何ですか？3つまで選んでください。

n=724

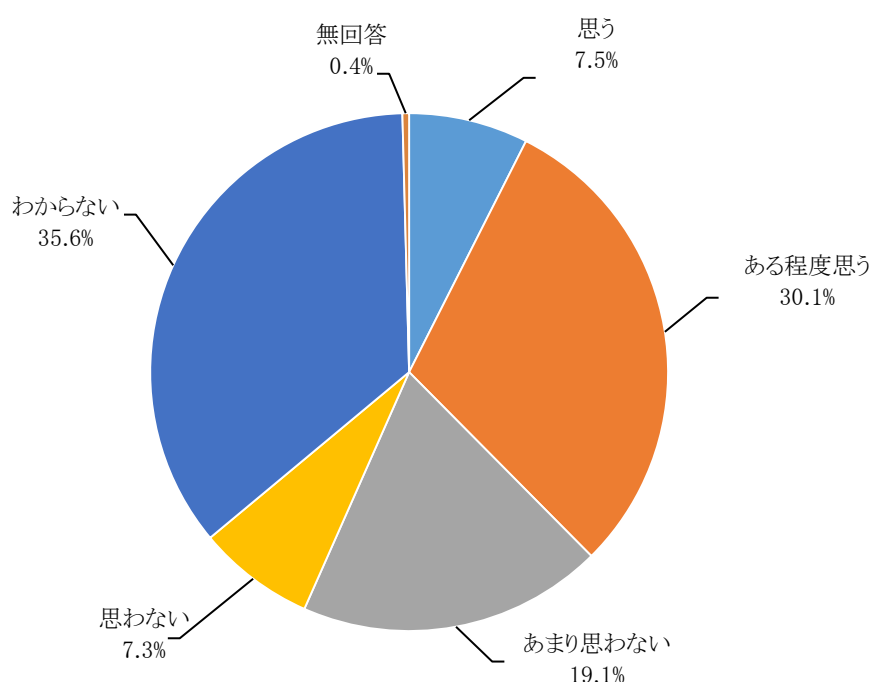
	項目	全体	割合
1	障がい者・家族等が相談できる窓口の周知	374	51.7%
2	障がい者の権利が守られる体制の確立	171	23.6%
3	障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための取組み	368	50.8%
4	障がい者に対する正しい理解を深めるための取組み	261	36.0%
5	障がい者の社会参加を促進するための取組み	205	28.3%
6	その他	18	2.5%
7	わからない	113	15.6%
	無回答	4	0.6%
合計		1514	



全体的傾向	「障がい者・家族等が相談できる窓口の周知」(51.7%)が最も多く、次いで「障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための取組み」(50.8%)となっています。
年齢別傾向	「18歳～24歳」「66歳～74歳」の方は、「障がい者に対する正しい理解を深めるための取組み」が最も多くなっています。
居住年数別傾向	居住年数別で差異はありませんでした。
子育て世帯別傾向	「自身と親と子ども(三世代世帯)子育て」の方は、「障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための取組み」が最も多くなっています。

問10 旭区では、高齢の方やその家族の方がさまざまなことについて、相談やサポートを受けられるようになってきていると思いますか？ n=724

	項目	全体	割合
1	思う	54	7.5%
2	ある程度思う	218	30.1%
3	あまり思わない	138	19.1%
4	思わない	53	7.3%
5	わからない	258	35.6%
	無回答	3	0.4%
合計		724	100.0%

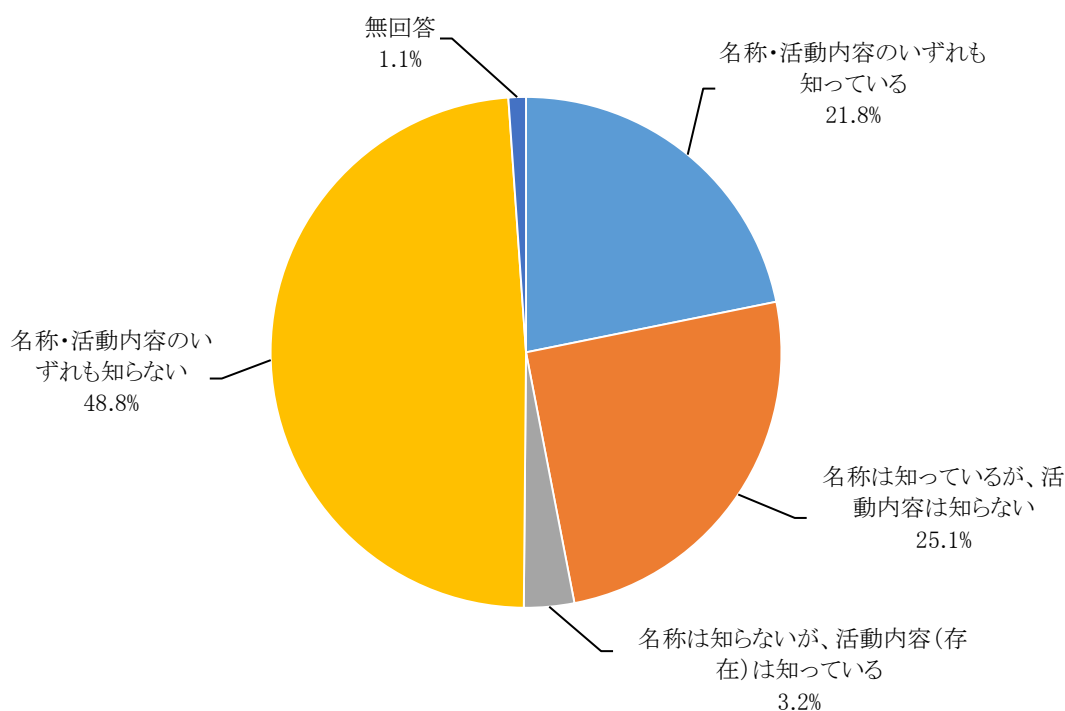


全体的傾向	「わからない」(35.6%)が最も多く、次いで「ある程度思う」(30.1%)、「あまり思わない」(19.1%)となっています。
年齢別傾向	「50歳～59歳」「60歳～65歳」の方は、「ある程度思う」が最も多くなっています。
居住年数別傾向	「30年以上」の方は、「ある程度思う」が最も多くなっています。
子育て世帯別傾向	「自身と配偶者(またはパートナー)と二人暮らし」の方は、「ある程度思う」が最も多くなっています。



問 1 1 旭区内にある高齢者の方の支援機関「地域包括支援センター」をご存じですか？（旭区には「地域包括支援センター」のほか「東部地域包括支援センター」「西部地域包括支援センター」があります） n=724

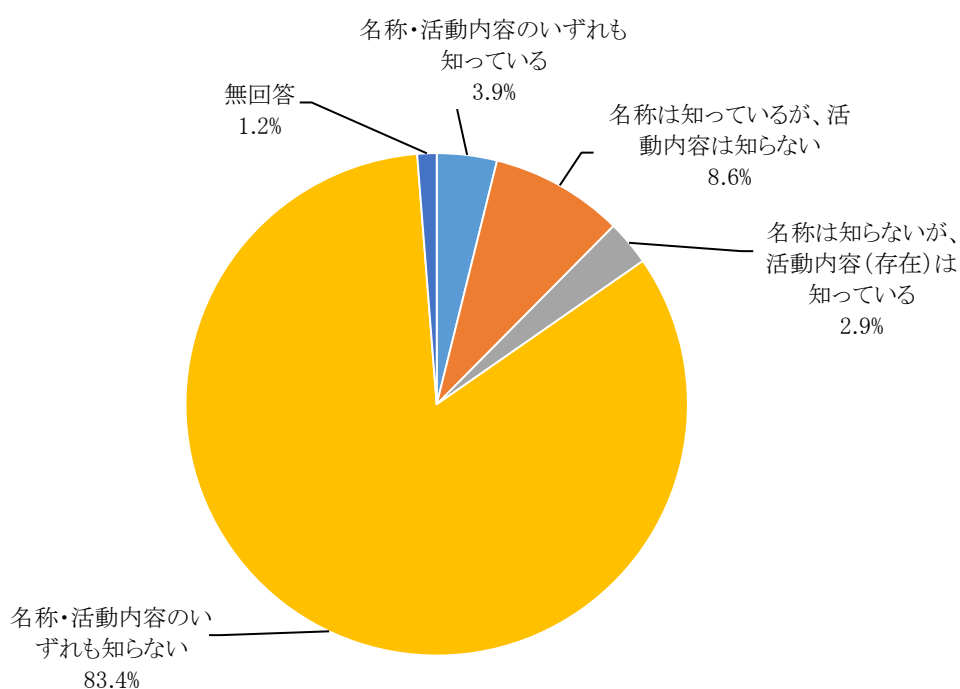
	項目	全体	割合
1	名称・活動内容のいずれも知っている	158	21.8%
2	名称は知っているが、活動内容は知らない	182	25.1%
3	名称は知らないが、活動内容（存在）は知っている	23	3.2%
4	名称・活動内容のいずれも知らない	353	48.8%
	無回答	8	1.1%
	合計	724	100.0%



全体的傾向	「名称・活動内容のいずれも知らない」(48.8%)が最も多く、次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」(25.1%)、「名称・活動内容のいずれも知っている」(21.8%)となっています。
年齢別傾向	「18歳～24歳」「50歳～55歳」の方は、「名称・活動内容のいずれも知っている」が次に多くなっています。
居住年数別傾向	「30年以上」の方は、「名称・活動内容のいずれも知っている」が次に多くなっています。
子育て世帯別傾向	「自身と親と子ども(三世帯世帯)子育て」の方は、「名称・活動内容のいずれも知っている」が次に多くなっています。

質問 1 2 地域包括支援センターの役割の一部を担う出張所の総合相談窓口（ランチ）をご存じですか？（旭区には「旭陽ランチ」「今市ランチ」があります）  
n=724

	項目	全体	割合
1	名称・活動内容のいずれも知っている	28	3.9%
2	名称は知っているが、活動内容は知らない	62	8.6%
3	名称は知らないが、活動内容（存在）は知っている	21	2.9%
4	名称・活動内容のいずれも知らない	604	83.4%
	無回答	9	1.2%
	合計	724	100.0%

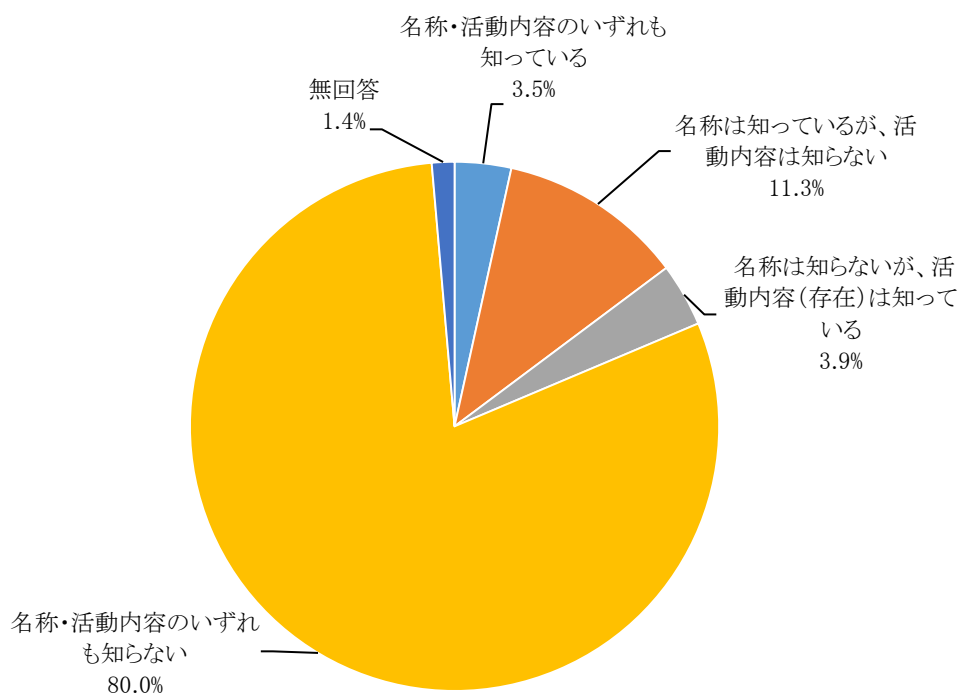


全体的傾向	「名称・活動内容のいずれも知らない」(83.4%)が最も多く、次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」(8.6%)、「名称・活動内容のいずれも知っている」(3.9%)となっています。
年齢別傾向	年齢別で差異はありませんでした。
居住年数別傾向	居住年数別で差異はありませんでした。
子育て世帯別傾向	子育て世帯別で差異はありませんでした。

問 1 3 認知症の方やそのご家族を支援するための、医師・医療職・福祉の専門員で構成する「認知症初期集中支援チーム（あさひさんさんオレンジチーム）」をご存じですか？

n=724

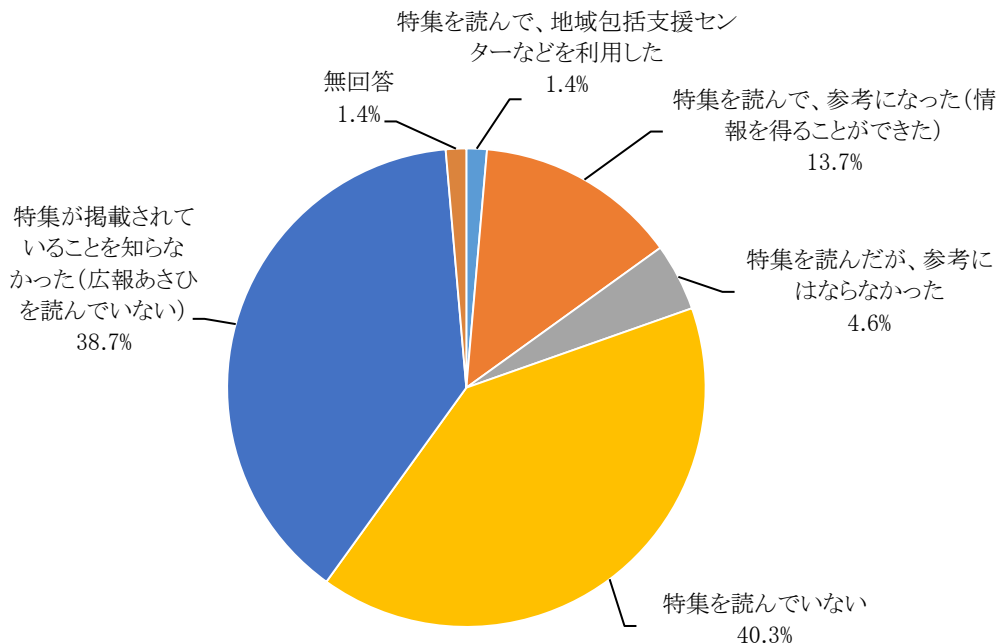
	項目	全体	割合
1	名称・活動内容のいずれも知っている	25	3.5%
2	名称は知っているが、活動内容は知らない	82	11.3%
3	名称は知らないが、活動内容（存在）は知っている	28	3.9%
4	名称・活動内容のいずれも知らない	579	80.0%
	無回答	10	1.4%
	合計	724	100.0%



全体的傾向	「名称・活動内容のいずれも知らない」(80.0%)が最も多く、次いで「名称は知っているが、活動内容は知らない」(11.3%)、「名称は知らないが、活動内容（存在）は知っている」(3.9%)となっています。
年齢別傾向	「18歳～24歳」「60歳～65歳」の方は、「名称・活動内容のいずれも知っている」が次に多くなっています。
居住年数別傾向	居住年数別で差異はありませんでした。
子育て世帯別傾向	子育て世帯別で差異はありませんでした。

問14 旭区広報紙「広報あさひ」9月号に地域包括支援センターの紹介など、高齢者に関する特集を掲載しましたが、ご覧になりましたか？（9月は「高齢者福祉月間」、「世界アルツハイマー月間」です） n=724

	項目	全体	割合
1	特集を読んで、地域包括支援センターなどを利用した	10	1.4%
2	特集を読んで、参考になった（情報を得ることができた）	99	13.7%
3	特集を読んだが、参考にはならなかった	33	4.6%
4	特集を読んでいない	292	40.3%
5	特集が掲載されていることを知らなかった（広報あさひを読んでいない）	280	38.7%
	無回答	10	1.4%
合計		724	100.0%

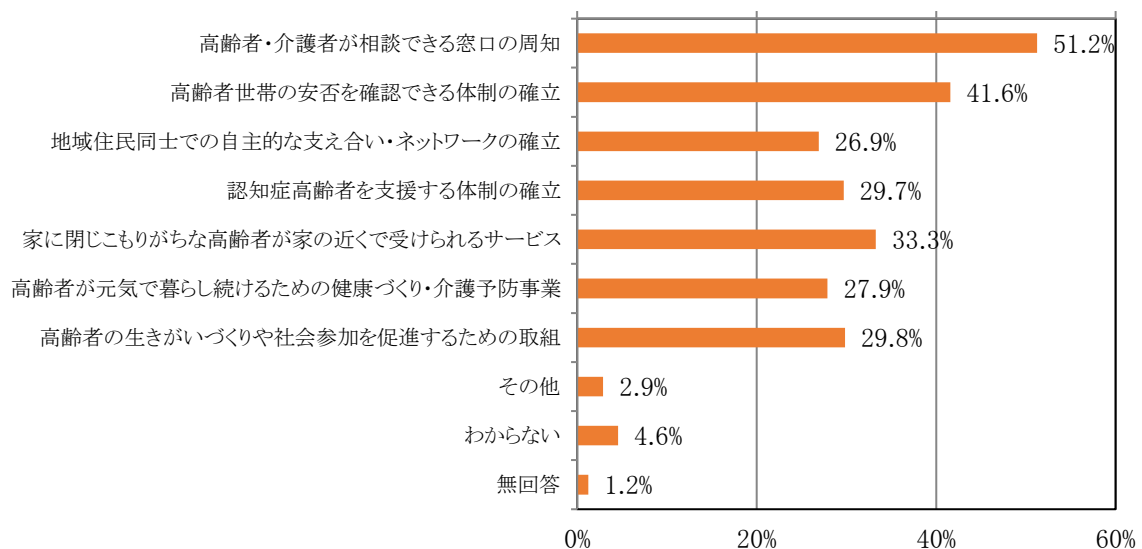


全体的傾向	「特集を読んでいない」（40.3%）が最も多く、次いで「特集が掲載されていることを知らなかった（広報あさひを読んでいない）」（38.7%）となっています。
年齢別傾向	「18歳～24歳」「25歳～29歳」「30歳～39歳」「40歳～49歳」の方は、「特集が掲載されていることを知らなかった（広報あさひを読んでいない）」が最も多くなっています。
居住年数別傾向	「5年未満」「5年以上10年未満」「10年以上20年未満」の方は、「特集が掲載されていることを知らなかった（広報あさひを読んでいない）」が最も多くなっています。
子育て世帯別傾向	子育て世帯別で差異はありませんでした。

問 1 5 高齢者施策に関して、今後充実すべきと思うことは何ですか？3つまで選んでください。

n=724

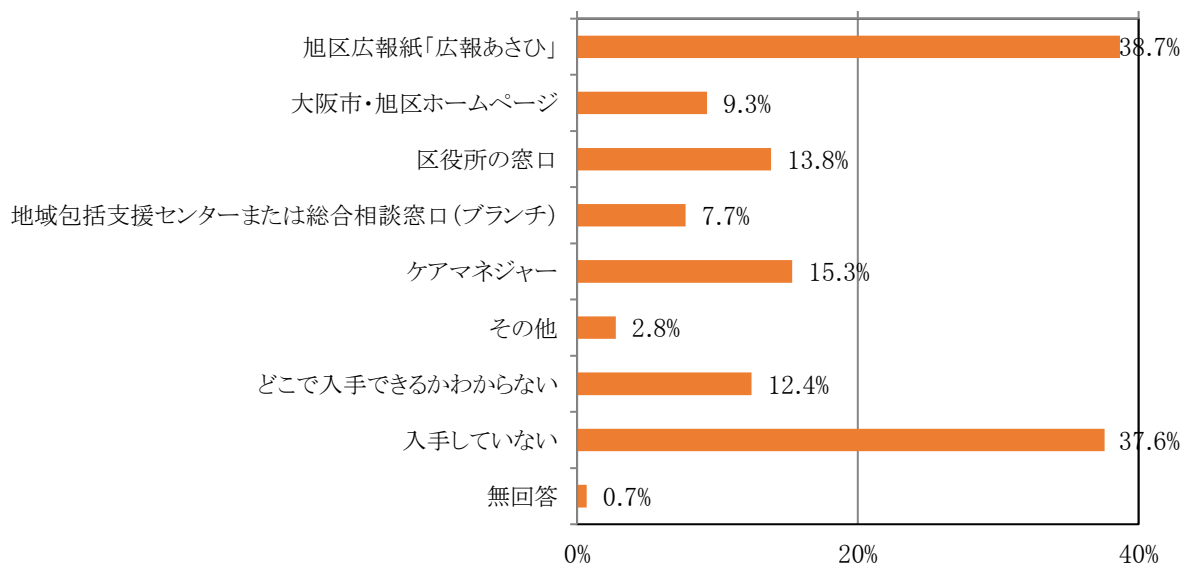
	項目	全体	割合
1	高齢者・介護者が相談できる窓口の周知	371	51.2%
2	高齢者世帯の安否を確認できる体制の確立	301	41.6%
3	地域住民同士での自主的な支え合い・ネットワークの確立	195	26.9%
4	認知症高齢者を支援する体制の確立	215	29.7%
5	家に閉じこもりがちな高齢者が家の近くで受けられるサービス	241	33.3%
6	高齢者が元気で暮らし続けるための健康づくり・介護予防事業	202	27.9%
7	高齢者の生きがいがづくりや社会参加を促進するための取組	216	29.8%
8	その他	21	2.9%
9	わからない	33	4.6%
	無回答	9	1.2%
合計		1804	



全体的傾向	「高齢者・介護者が相談できる窓口の周知」(51.2%)が最も多く、次いで「高齢者世帯の安否を確認できる体制の確立」(41.6%)となっています。
年齢別傾向	「18歳～24歳」「25歳～29歳」「30歳～39歳」の方は、「高齢者世帯の安否を確認できる体制の確立」が最も多くなっています。
居住年数別傾向	「5年未満」「5年以上10年未満」の方は、「高齢者世帯の安否を確認できる体制の確立」が最も多くなっています。
子育て世帯別傾向	子育て世帯別で差異はありませんでした。

問16 高齢者の方を対象としたサービス・事業に関する情報はどのように入手されていますか？あてはまるものをすべて選んでください。 n=724

	項目	全体	割合
1	旭区広報紙「広報あさひ」	280	38.7%
2	大阪市・旭区ホームページ	67	9.3%
3	区役所の窓口	100	13.8%
4	地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ランチ）	56	7.7%
5	ケアマネジャー	111	15.3%
6	その他	20	2.8%
7	どこで入手できるかわからない	90	12.4%
8	入手していない	272	37.6%
	無回答	5	0.7%
合計		1001	

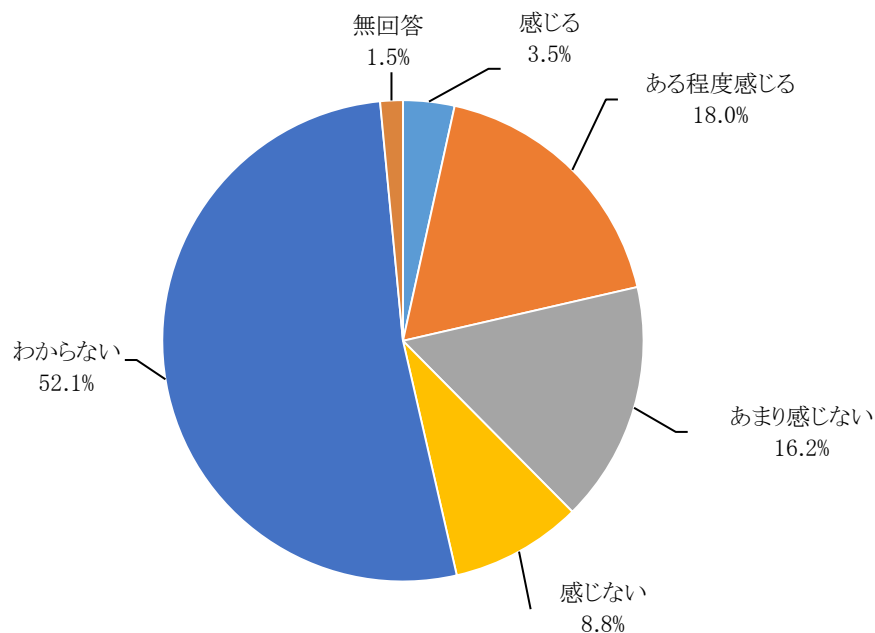


全体的傾向	「旭区広報紙「広報あさひ」」(38.7%)が最も多く、次いで「入手していない」(37.6%)、「ケアマネジャー」(15.3%)となっています。
年齢別傾向	「18歳～24歳」「25歳～29歳」「30歳～39歳」「40歳～49歳」「50歳～59歳」の方は、「入手していない」が最も多くなっています。
居住年数別傾向	「30年以上」の方以外は、「入手していない」が最も多くなっています。
子育て世帯別傾向	「ひとり暮らし」の方は、「入手していない」が最も多くなっています。

### 【3】コミュニティの活性化とまちの魅力の創出に向けた取組について

問17 旭区内には各小学校区を単位として、10の「地域活動協議会」が設立されています。各地域活動協議会は、構成団体である様々な地域団体等の協働により、地域課題の解決やコミュニティの活性化に取り組んでいます。地域活動協議会により地域が自律的に運営されていると感じますか？ n=724

	項目	全体	割合
1	感じる	25	3.5%
2	ある程度感じる	130	18.0%
3	あまり感じない	117	16.2%
4	感じない	64	8.8%
5	わからない	377	52.1%
	無回答	11	1.5%
	合計	724	100.0%

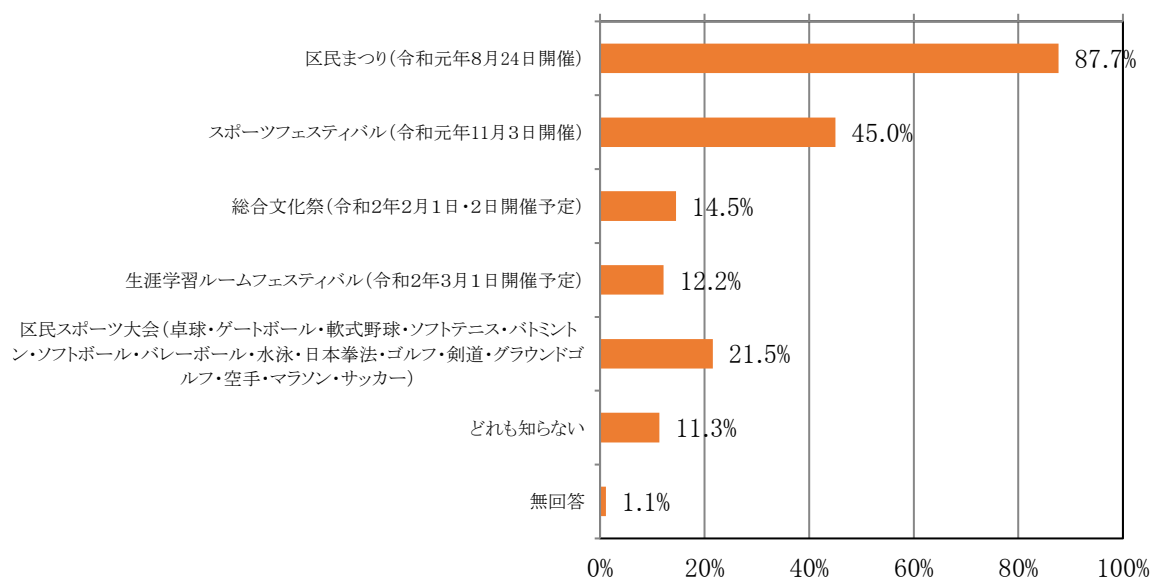


全体的傾向	「わからない」(52.1%)が最も多く、次いで「ある程度感じる」(18.0%)、「あまり感じない」(16.2%)となっています。
年齢別傾向	「18歳～24歳」「25歳～29歳」の方は、「あまり感じない」が次に多くなっています。
居住年数別傾向	「5年未満」「5年以上10年未満」の方は、「あまり感じない」が次に多くなっています。
子育て世帯別傾向	「ひとり暮らし」の方は、「あまり感じない」が次に多くなっています。

問18 旭区役所では、地域の各種団体と協働で、コミュニティ活性化のための催しを開催しています。次の催しで知っているものをすべて選んでください。

n=724

	項目	全体	割合
1	区民まつり（令和元年8月24日開催）	635	87.7%
2	スポーツフェスティバル（令和元年11月3日開催）	326	45.0%
3	総合文化祭（令和2年2月1日・2日開催予定）	105	14.5%
4	生涯学習ルームフェスティバル（令和2年3月1日開催予定）	88	12.2%
5	区民スポーツ大会（卓球・ゲートボール・軟式野球・ソフトテニス・バトミントン・ソフトボール・バレーボール・水泳・日本拳法・ゴルフ・剣道・グラウンドゴルフ・空手・マラソン・サッカー）	156	21.5%
6	どれも知らない	82	11.3%
	無回答	8	1.1%
合計		1400	

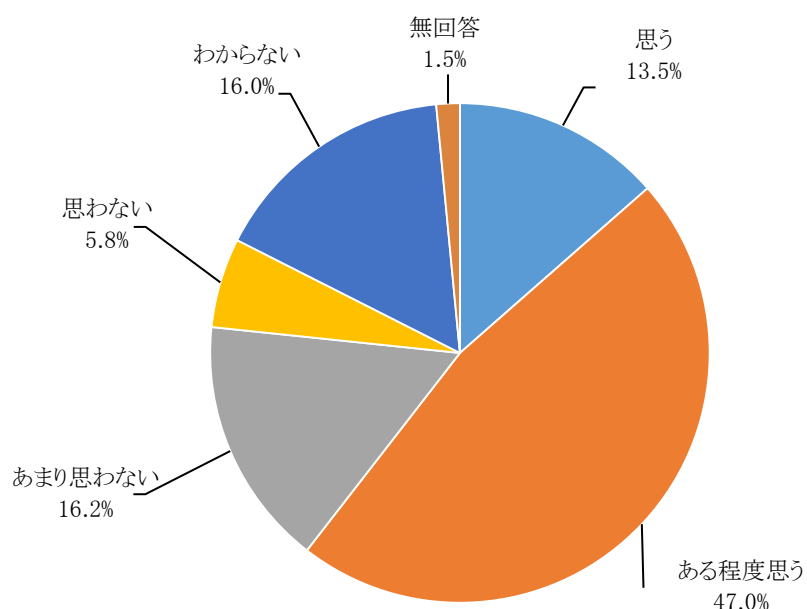


全体的傾向	「区民まつり（令和元年8月24日開催）」(87.7%)が最も多く、次いで「スポーツフェスティバル（令和元年11月3日開催）」(45.0%)となっています。
年齢別傾向	「25歳～29歳」の方は、「どれも知らない」が次に多くなっています。
居住年数別傾向	「5年未満」の方は、「どれも知らない」が次に多くなっています。
子育て世帯別傾向	子育て世帯別で差異はありませんでした。



問19 旭区役所では、「城北公園フェア（6月）」、「区民まつり（8月）」、「スポーツフェスティバル（11月）」、「総合文化祭（2月開催予定）」を開催するなど、地域の活性化に取り組んでいます。旭区において、地域のにぎわいや活性化が進んでいると思いますか？ n=724

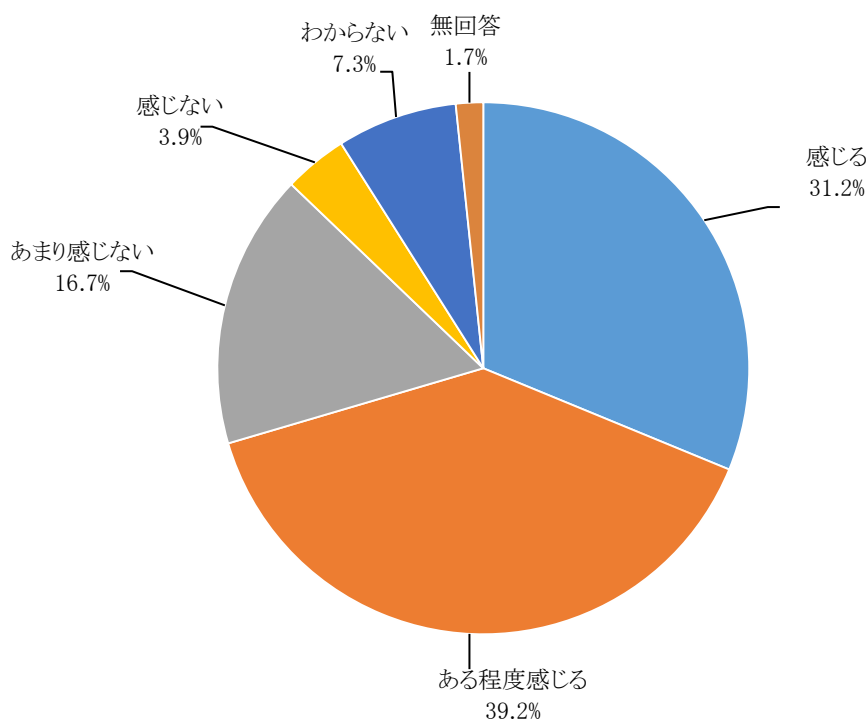
	項目	全体	割合
1	思う	98	13.5%
2	ある程度思う	340	47.0%
3	あまり思わない	117	16.2%
4	思わない	42	5.8%
5	わからない	116	16.0%
	無回答	11	1.5%
合計		724	100.0%



全体的傾向	「ある程度思う」(47.0%)が最も多く、次いで「あまり思わない」(16.2%)、「わからない」(16.0%)となっています。
年齢別傾向	「18歳～24歳」「25歳～29歳」の方は、「わからない」が次に多くなっています。
居住年数別傾向	「5年未満」の方は「わからない」、「5年以上10年未満」の方は「思う」が次に多くなっています。
子育て世帯別傾向	「ひとり暮らし」の方は、「わからない」が次に多くなっています。

問20 旭区役所では、区を誇りに思い、郷土愛や愛着を深めてもらうとともに、多くの人々が訪れる活気あるまちの実現に向けて各種イベントの開催などに取り組んでいます。あなたは、旭区に愛着を感じますか？ n=724

	項目	全体	割合
1	感じる	226	31.2%
2	ある程度感じる	284	39.2%
3	あまり感じない	121	16.7%
4	感じない	28	3.9%
5	わからない	53	7.3%
	無回答	12	1.7%
合計		724	100.0%

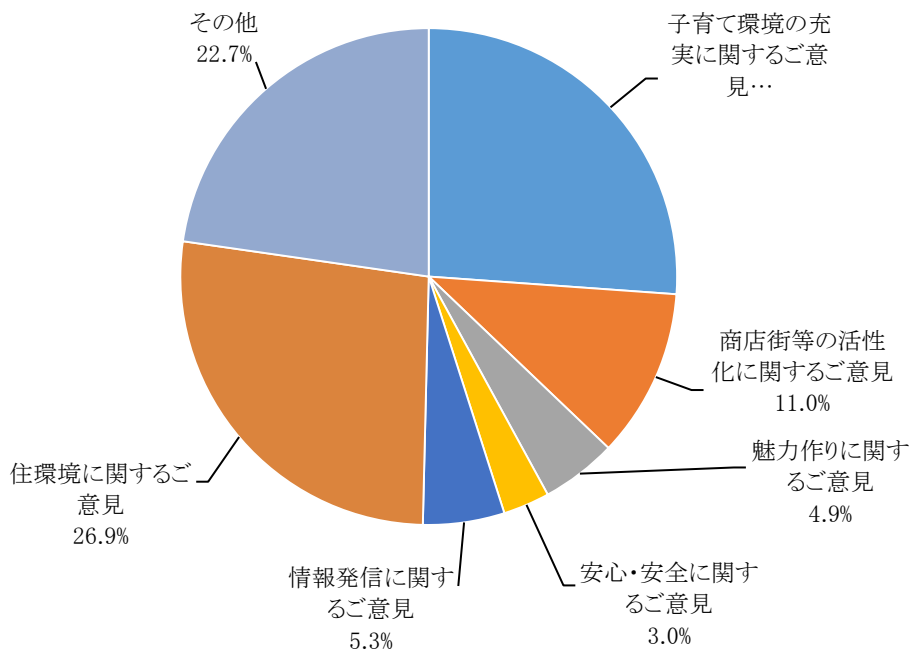


全体的傾向	「ある程度感じる」(39.2%)が最も多く、次いで「感じる」(31.2%)、「あまり感じない」(16.7%)となっています。
年齢別傾向	「18歳～24歳」の方は「感じる」、「25歳～29歳」の方は「あまり感じない」が最も多くなっています。
居住年数別傾向	「5年未満」の方は、「感じない」が最も多くなっています。
子育て世帯別傾向	子育て世帯別で差異はありませんでした。

問 2 1 若い世代の方々に、旭区に回帰・定住してもらうためには、どのような取組が効果的だと思いますか。ご意見などがありましたら、記入してください。

n=264

	項目	全体	割合
1	子育て環境の充実に関するご意見	69	26.1%
2	商店街等の活性化に関するご意見	29	11.0%
3	魅力作りに関するご意見	13	4.9%
4	安心・安全に関するご意見	8	3.0%
5	情報発信に関するご意見	14	5.3%
6	住環境に関するご意見	71	26.9%
7	その他	60	22.7%
合計		264	100.0%

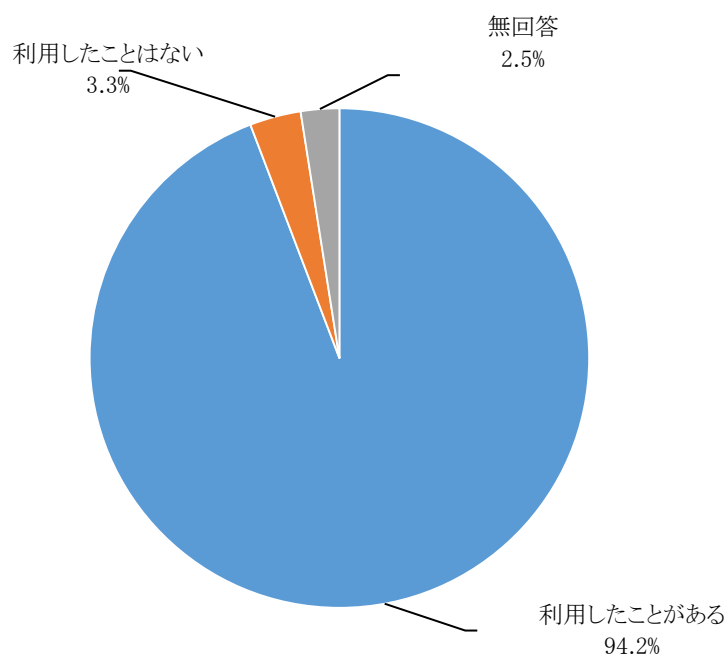


全体的傾向	「住環境に関するご意見」(26.9%)が最も多く、次いで「子育て環境の充実に関するご意見」(26.1%)、「その他」(22.7%)となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外

問22 旭区内には、千林商店街や今市商店街をはじめとした、たくさんの商店街があります。あなたは、区内の商店街を利用したことがありますか？

n=724

	項目	全体	割合
1	利用したことがある	682	94.2%
2	利用したことはない	24	3.3%
	無回答	18	2.5%
合計		724	100.0%

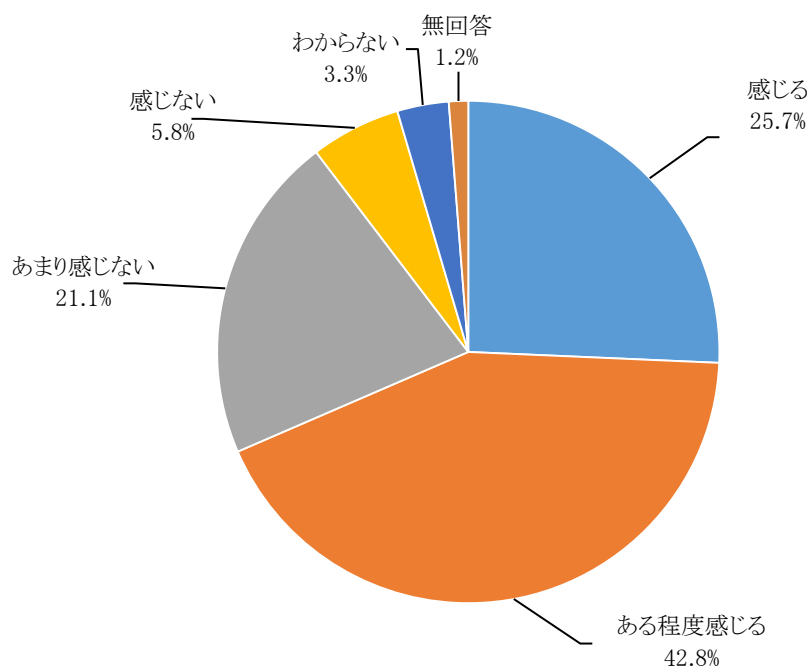


全体的傾向	「利用したことがある」(94.2%)、「利用したことはない」(3.3%)となっています。
年齢別傾向	年齢別で差異はありませんでした。
居住年数別傾向	居住年数別で差異はありませんでした。
子育て世帯別傾向	子育て世帯別で差異はありませんでした。

問 2 3 あなたは、旭区内の商店街に魅力を感じますか？

n=724

	項目	全体	割合
1	感じる	186	25.7%
2	ある程度感じる	310	42.8%
3	あまり感じない	153	21.1%
4	感じない	42	5.8%
5	わからない	24	3.3%
	無回答	9	1.2%
合計		724	100.0%

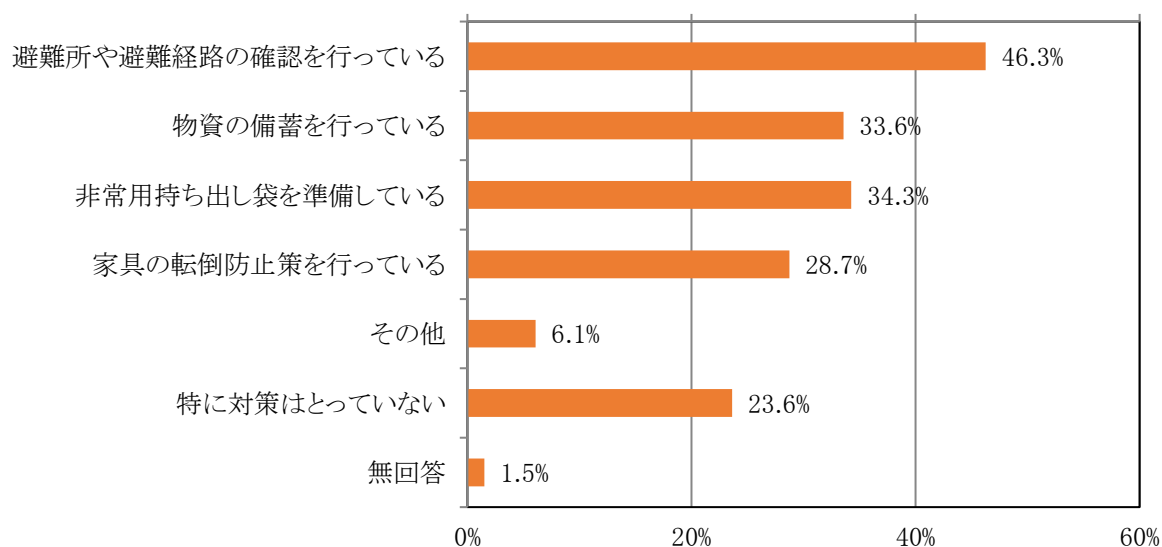


全体的傾向	「ある程度感じる」(42.8%)が最も多く、次いで「感じる」(25.7%)、「あまり感じない」(21.1%)、「感じない」(5.8%)となっています。
年齢別傾向	「18歳～24歳」「25歳～29歳」の方は、「感じる」が最も多くなっています。
居住年数別傾向	居住年数別で差異はありませんでした。
子育て世帯別傾向	子育て世帯別で差異はありませんでした。

## 【4】地域防災力・地域防犯力の強化に向けた取組について

問24 災害に備えて、避難所や避難経路の確認、物資の備蓄、非常用持ち出し袋、家具の転倒防止策など自助の取組が大切です。あなたの家庭では、何らかの防災対策をとっていますか？（複数回答可：該当する取組があれば、すべて○をしてください）。 n=724

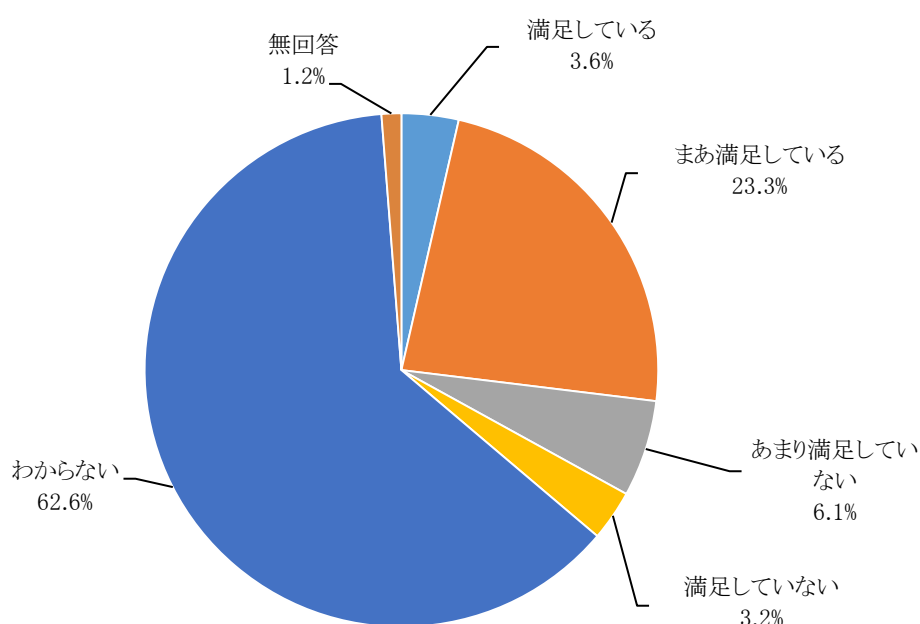
	項目	全体	割合
1	避難所や避難経路の確認を行っている	335	46.3%
2	物資の備蓄を行っている	243	33.6%
3	非常用持ち出し袋を準備している	248	34.3%
4	家具の転倒防止策を行っている	208	28.7%
5	その他	44	6.1%
6	特に対策はとっていない	171	23.6%
	無回答	11	1.5%
合計		1,260	



全体的傾向	「避難所や避難経路の確認を行っている」(46.3%)が最も多く、次いで「非常用持ち出し袋を準備している」(34.3%)、「物資の備蓄を行っている」(33.6%)となっています。
年齢別傾向	「25歳～29歳」の方は、「非常用持ち出し袋を準備している」、「30歳～39歳」の方は、「物資の備蓄を行っている」が最も多くなっています。
居住年数別傾向	「5年未満」の方は、「特に対策はとっていない」が最も多くなっています。
子育て世帯別傾向	「自身と子ども(二世帯世帯)」「自身と親と子ども(三世帯世帯)」の方は、「物資の備蓄を行っている」が次に多くなっています。

問 2 5 旭区役所では、避難所など防災拠点へ災害用トイレ、ガスカセット式発電機、投光器、LEDランタン、間仕切りなどの防災物資を順次配備しています。区役所の防災物資の整備状況にあなたは満足していますか？ n=724

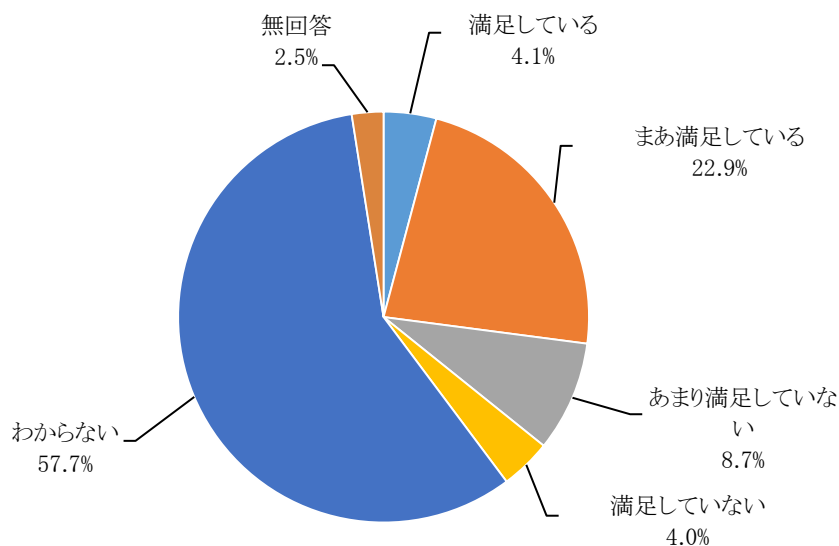
	項目	全体	割合
1	満足している	26	3.6%
2	まあ満足している	169	23.3%
3	あまり満足していない	44	6.1%
4	満足していない	23	3.2%
5	わからない	453	62.6%
	無回答	9	1.2%
合計		724	100.0%



全体的傾向	「わからない」(62.6%)が最も多く、次いで「まあ満足している」(23.3%)、「あまり満足していない」(6.1%)となっています。
年齢別傾向	年齢別で差異はありませんでした。
居住年数別傾向	居住年数別で差異はありませんでした。
子育て世帯別傾向	子育て世帯別で差異はありませんでした。

問 2 6 旭区役所では、平成 31 年 4 月に防災力の強化に向けて地域と協働で取り組むため、市民協働課内に防災安全グループを設置し、地域担当制を充実させるなど、区役所の防災体制の強化を図りました。更に、順次、区災害対策本部と避難所の情報伝達手段の再構築（情報機器の配備）や防災備品の充実等を効果的に実施し、いざというときに機能する地域防災拠点の充実強化を図っています。旭区の地域防災体制についてどう思いますか？ n=724

	項目	全体	割合
1	満足している	30	4.1%
2	まあ満足している	166	22.9%
3	あまり満足していない	63	8.7%
4	満足していない	29	4.0%
5	わからない	418	57.7%
	無回答	18	2.5%
合計		724	100.0%



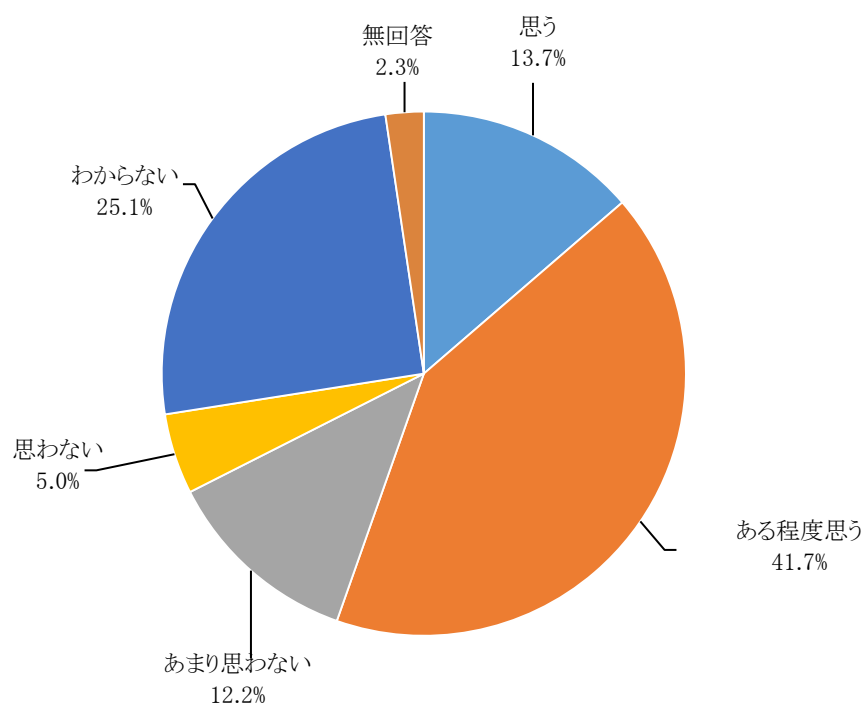
全体的傾向	「わからない」(57.7%)が最も多く、次いで「まあ満足している」(22.9%)、「あまり満足していない」(8.7%)となっています。
年齢別傾向	年齢別で差異はありませんでした。
居住年数別傾向	居住年数別で差異はありませんでした。
子育て世帯別傾向	子育て世帯別で差異はありませんでした。



問 2 7 旭区役所が地域住民や警察署と連携して取り組む地域防犯活動（防犯教室（年間約 20 回）や街頭啓発（年間約 70 回）など）は効果があると思いますか？

n=724

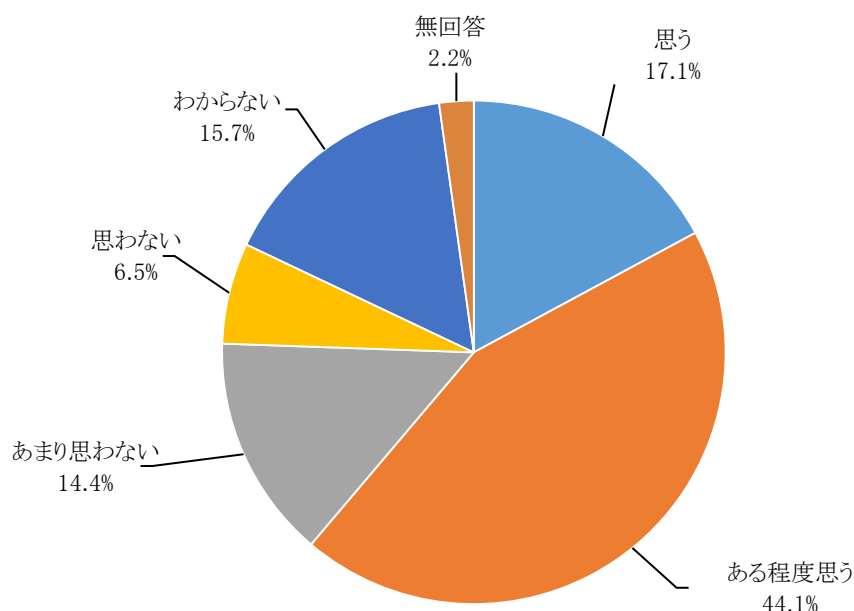
	項目	全体	割合
1	思う	99	13.7%
2	ある程度思う	302	41.7%
3	あまり思わない	88	12.2%
4	思わない	36	5.0%
5	わからない	182	25.1%
	無回答	17	2.3%
合計		724	100.0%



全体的傾向	「ある程度思う」(41.7%)が最も多く、次いで「わからない」(25.1%)、「思う」(13.7%)となっています。
年齢別傾向	年齢別で差異はありませんでした。
居住年数別傾向	居住年数別で差異はありませんでした。
子育て世帯別傾向	「自身と親と子ども（三世帯世帯）」の方は、「思う」が次に多くなっています。

問 28 旭区役所が地域住民や警察署と連携して取り組む交通安全運動（春：原則 4 月 6 日～4 月 15 日、秋：9 月 21 日～9 月 30 日）及び自転車マナー・放置自転車対策（交通安全教室（年間約 20 回）・街頭啓発（年間約 30 回）・取締りなど）は効果があると思いますか？ n=724

	項目	全体	割合
1	思う	124	17.1%
2	ある程度思う	319	44.1%
3	あまり思わない	104	14.4%
4	思わない	47	6.5%
5	わからない	114	15.7%
	無回答	16	2.2%
合計		724	100.0%



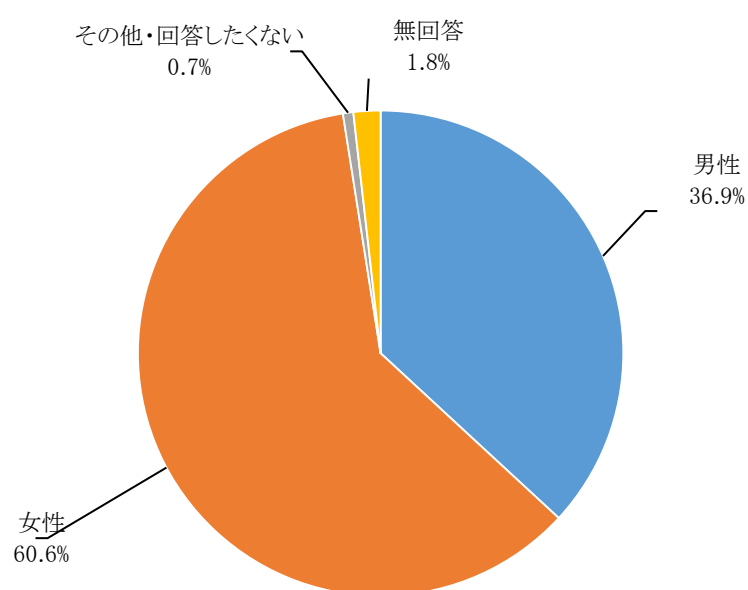
全体的傾向	「ある程度思う」(44.1%)が最も多く、次いで「思う」(17.1%)、「わからない」(15.7%)、「あまり思わない」(14.4%)となっています。
年齢別傾向	「18歳～24歳」「25歳～29歳」「30歳～39歳」「40歳～49歳」「50歳～59歳」の方は、「わからない」が次に多くなっています。
居住年数別傾向	「30年以上」の方以外は、「わからない」が次に多くなっています。
子育て世帯別傾向	「ひとり暮らし」「自身と子ども(二世帯世帯)」の方は、「わからない」が次に多くなっています。

## 【8】あなたご自身についてお聞きします

問29 あなたの性別をお答えください。

n=724

	項目	全体	割合
1	男性	267	36.9%
2	女性	439	60.6%
3	その他・回答したくない	5	0.7%
	無回答	13	1.8%
合計		724	100.0%

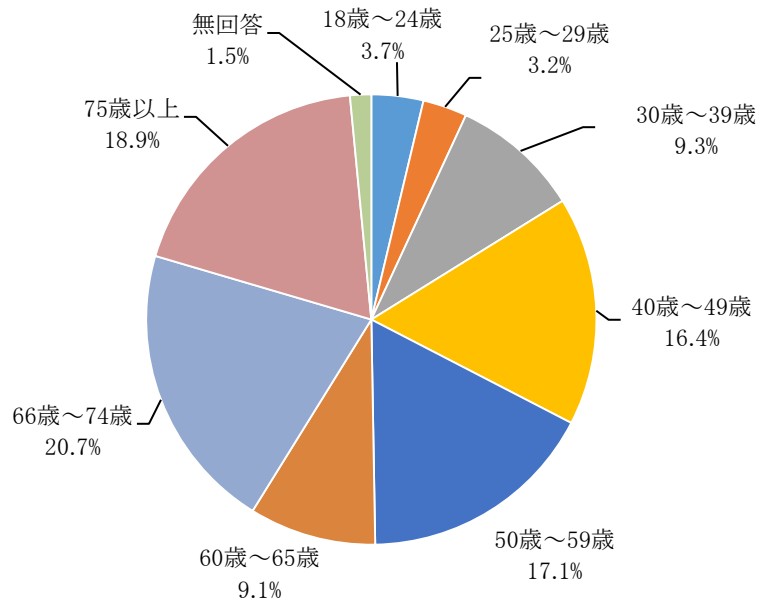


全体的傾向	「男性」が36.9%、「女性」が60.6%となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外

問30 あなたの年齢をお答えください。

n=724

	項目	全体	割合
1	18歳～24歳	27	3.7%
2	25歳～29歳	23	3.2%
3	30歳～39歳	67	9.3%
4	40歳～49歳	119	16.4%
5	50歳～59歳	124	17.1%
6	60歳～65歳	66	9.1%
7	66歳～74歳	150	20.7%
8	75歳以上	137	18.9%
	無回答	11	1.5%
合計		724	100.0%

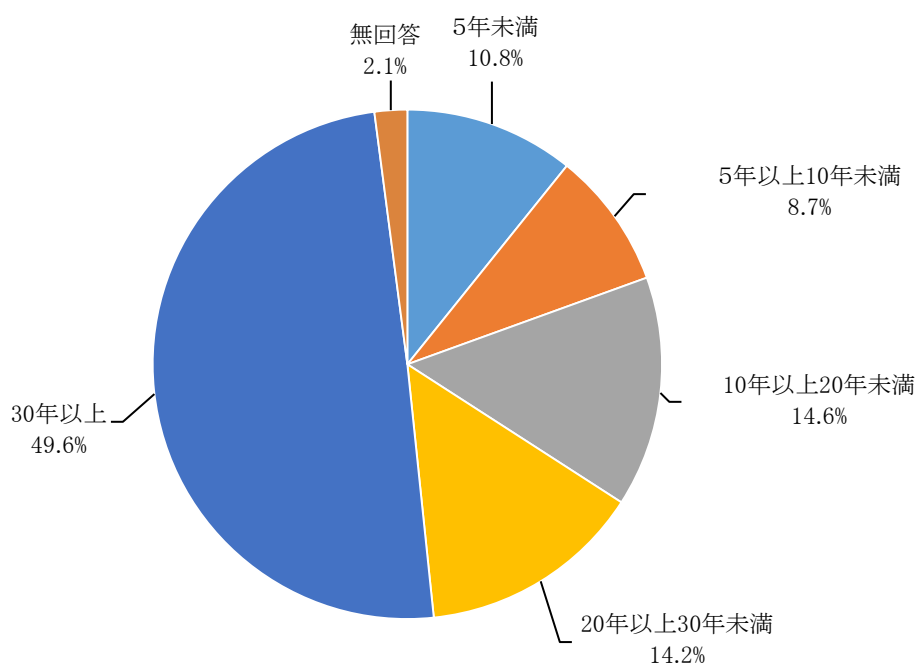


全体的傾向	「66歳～74歳」(20.7%)が最も多く、次いで「75歳以上」(18.9%)、「50歳～59歳」(17.1%)、「40歳～49歳」(16.4%)となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外

問3 1 旭区にお住まいになられてどれくらいになりますか？

n=724

	項目	全体	割合
1	5年未満	78	10.8%
2	5年以上10年未満	63	8.7%
3	10年以上20年未満	106	14.6%
4	20年以上30年未満	103	14.2%
5	30年以上	359	49.6%
	無回答	15	2.1%
合計		724	100.0%

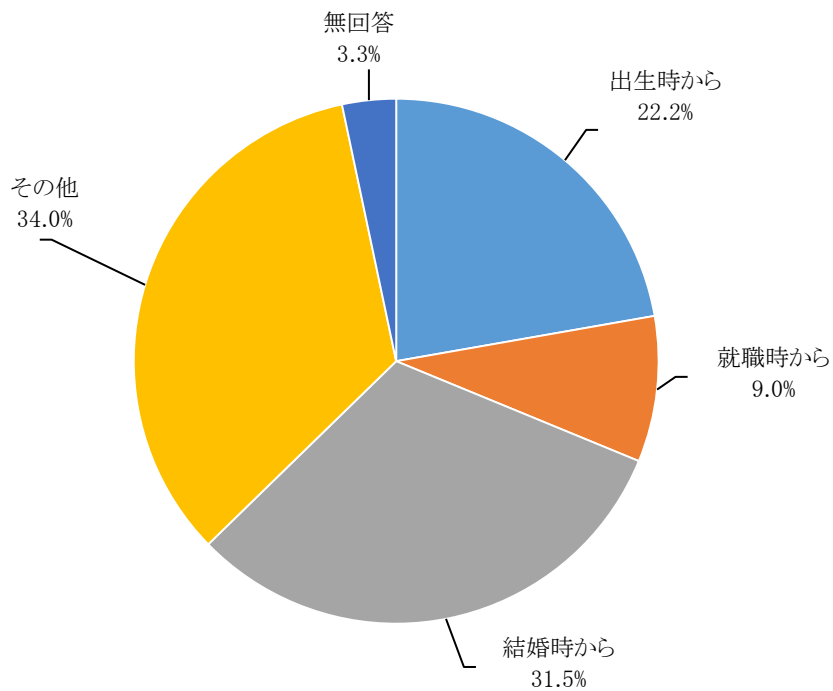


全体的傾向	「30年以上」(49.6%)が最も多く、次いで「10年以上20年未満」(14.6%)、「20年以上30年未満」(14.2%)となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外

問3 2 旭区にはいつから住まれていますか？

n=724

	項目	全体	割合
1	出生時から	161	22.2%
2	就職時から	65	9.0%
3	結婚時から	228	31.5%
4	その他	246	34.0%
	無回答	24	3.3%
合計		724	100.0%

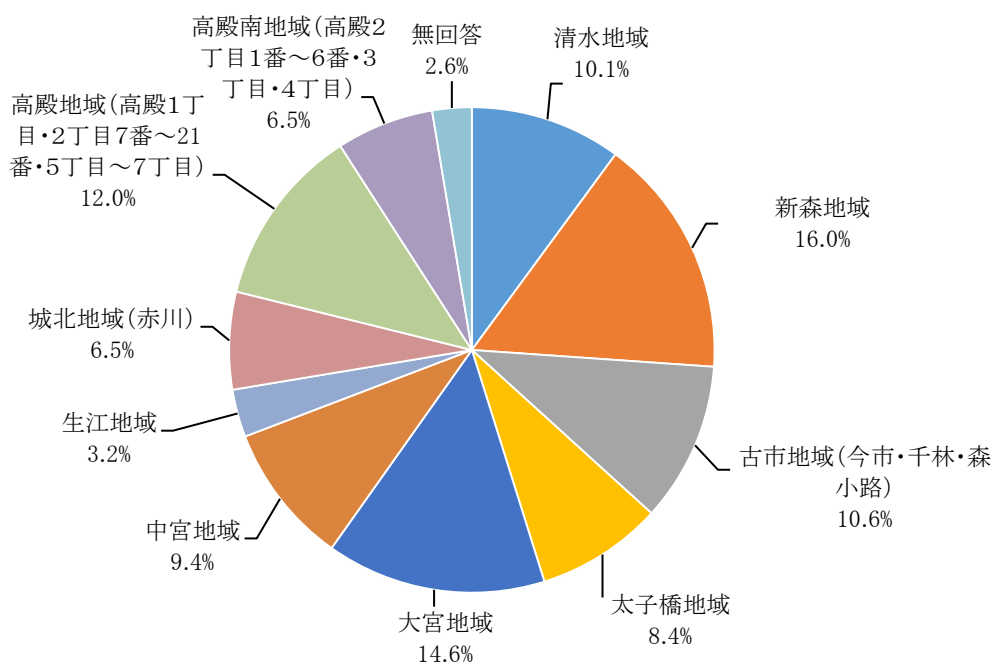


全体的傾向	「その他」(34.0%)が最も多く、次いで「結婚時から」(31.5%)、「出生時から」(22.2%)、「就職時から」(9.0%)となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外

問33 現在お住まいの地域をお答えください。

n=724

	項目	全体	割合
1	清水地域	73	10.1%
2	新森地域	116	16.0%
3	古市地域（今市・千林・森小路）	77	10.6%
4	太子橋地域	61	8.4%
5	大宮地域	106	14.6%
6	中宮地域	68	9.4%
7	生江地域	23	3.2%
8	城北地域（赤川）	47	6.5%
9	高殿地域（高殿1丁目・2丁目7番～21番・5丁目～7丁目）	87	12.0%
10	高殿南地域（高殿2丁目1番～6番・3丁目・4丁目）	47	6.5%
	無回答	19	2.6%
合計		724	100.0%

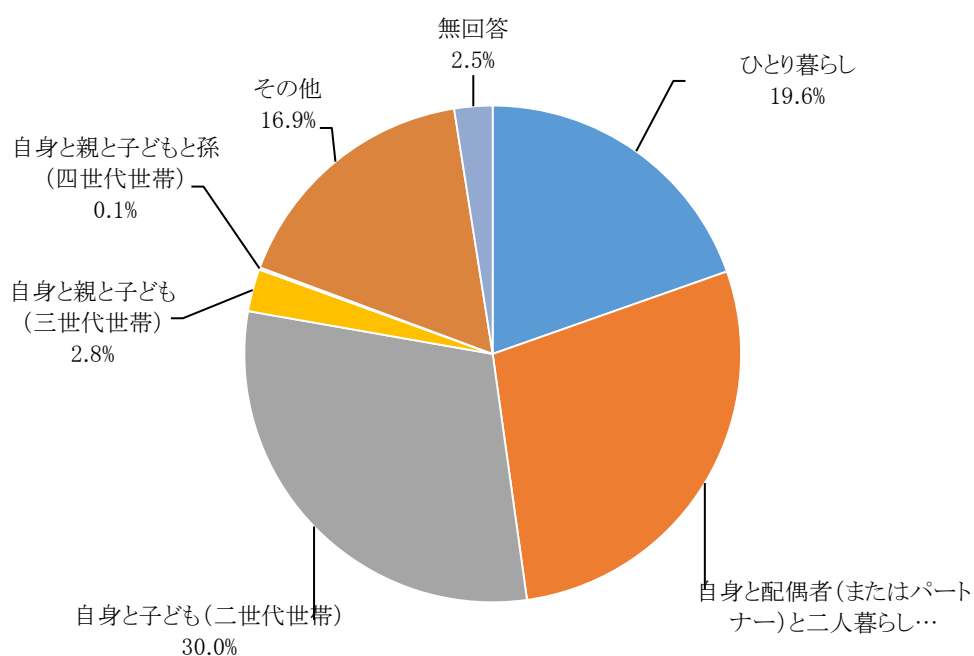


全体的傾向	「新森地域」(16.0%)が最も多く、次いで「大宮地域」(14.6%)、「高殿地域(高殿1丁目・2丁目7番～21番・5丁目～7丁目)」(12.0%)となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外

問34 あなたの家族構成をお答えください。

n=724

	項目	全体	割合
1	ひとり暮らし	142	19.6%
2	自身と配偶者（またはパートナー）と二人暮らし	204	28.2%
3	自身と子ども（二世世代世帯）	217	30.0%
4	自身と親と子ども（三世世代世帯）	20	2.8%
5	自身と親と子どもと孫（四世代世帯）	1	0.1%
6	その他	122	16.9%
	無回答	18	2.5%
	合計	724	100.0%



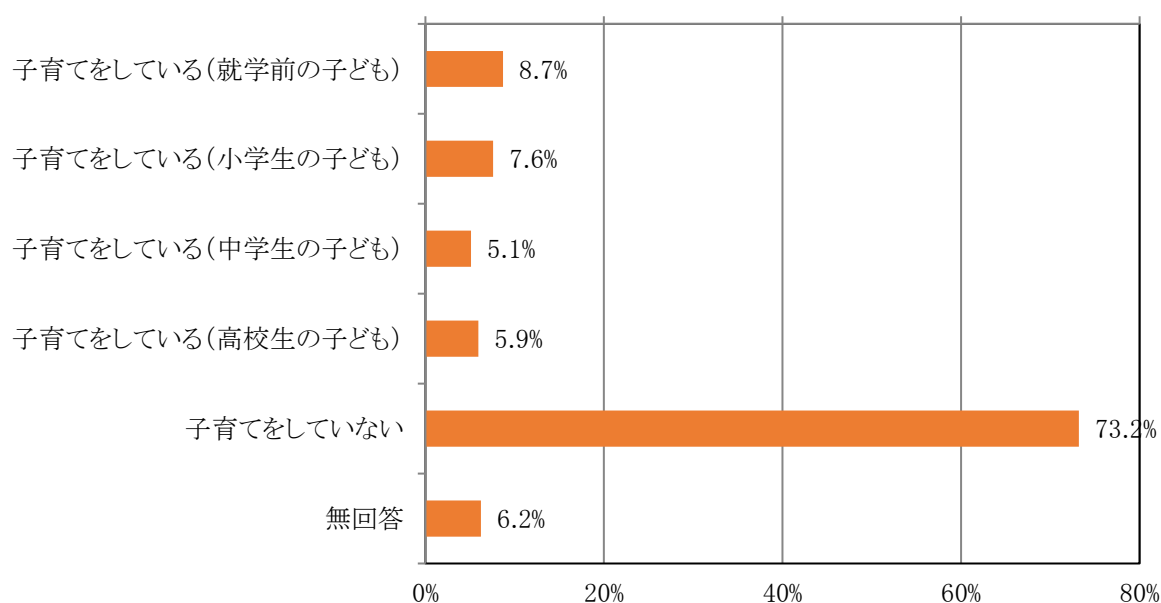
全体的傾向	「自身と子ども（二世世代世帯）」(30.0%)が最も多く、次いで「自身と配偶者（またはパートナー）と二人暮らし」(28.2%)、「ひとり暮らし」(19.6%)となっています。
年齢別傾向	対象外
居住年数別傾向	対象外
子育て世帯別傾向	対象外



問35 現在、高校生以下の子育てをしていますか？

n=724

	項目	全体	割合
1	子育てをしている（就学前の子ども）	63	8.7%
2	子育てをしている（小学生の子ども）	55	7.6%
3	子育てをしている（中学生の子ども）	37	5.1%
4	子育てをしている（高校生の子ども）	43	5.9%
5	子育てをしていない	530	73.2%
	無回答	45	6.2%
	合計	773	



全体的傾向	「子育てをしていない」(73.2%)が最も多く、次いで「子育てをしている(就学前の子ども)」(8.7%)、「子育てをしている(小学生の子ども)」(7.6%)となっています。
年齢別傾向	全ての年代で「子育てをしていない」が最も多い傾向ですが、「30歳～39歳」の方は、「子育てをしている(就学前の子ども)」が最も多くなっています。
居住年数別傾向	全ての居住年数で「子育てをしていない」が最も多くなっています。次いで、「10年以上～20年未満」の方は、「子育てをしている(小学生の子ども)」が多くなっています。
子育て世帯別傾向	全ての子育て世帯で「子育てをしていない」が最も多くなっています。次いで、「自身と親と子ども(三世帯世帯)」の方は、「子育てをしている(小学生の子ども)」が多くなっています。

□ 高校生以下の子育てをしている方のうち、就学前の子供を育てている方

	項目	全体	割合
1	子育てをしている（就学前の子ども） 1人	40	64.5%
2	子育てをしている（就学前の子ども） 2人	19	30.6%
3	子育てをしている（就学前の子ども） 3人	3	4.8%
4	子育てをしている（就学前の子ども） 4人以上	0	0.0%
	子育てをしている（就学前の子ども） 無回答	0	0.0%
合計		62	100.0%

□ 高校生以下の子育てをしている方のうち、小学生の子供を育てている方

	項目	全体	割合
1	子育てをしている（小学生の子ども） 1人	44	80.0%
2	子育てをしている（小学生の子ども） 2人	7	12.7%
3	子育てをしている（小学生の子ども） 3人	4	7.3%
4	子育てをしている（小学生の子ども） 4人以上	0	0.0%
	子育てをしている（小学生の子ども） 無回答	0	0.0%
合計		55	100.0%

□ 高校生以下の子育てをしている方のうち、中学生の子供を育てている方

	項目	全体	割合
1	子育てをしている（中学生の子ども） 1人	32	88.9%
2	子育てをしている（中学生の子ども） 2人	4	11.1%
3	子育てをしている（中学生の子ども） 3人	0	0.0%
4	子育てをしている（中学生の子ども） 4人以上	0	0.0%
	子育てをしている（中学生の子ども） 無回答	0	0.0%
合計		36	100.0%

□ 高校生以下の子育てをしている方のうち、高校生の子供を育てている方

	項目	全体	割合
1	子育てをしている（高校生の子ども） 1人	37	88.1%
2	子育てをしている（高校生の子ども） 2人	5	11.9%
3	子育てをしている（高校生の子ども） 3人	0	0.0%
4	子育てをしている（高校生の子ども） 4人以上	0	0.0%
	子育てをしている（高校生の子ども） 無回答	0	0.0%
合計		42	100.0%

## 令和2年度 第2回旭区民アンケート 報告書

発行年月 令和2年3月  
発行 大阪市旭区役所 企画総務課（企画調整）  
〒535-8501 大阪市旭区大宮1丁目1番17号  
電話 06-6957-9683/FAX 06-6952-3247